



60th

1965-2025

株式会社小林建築事務所

60th Anniversary 2015 → 2025
株式会社小林建築事務所 記念誌 彩【いろどり】

60th

「積極的創意と調和」



初代 小林 榮喜智

「我々はプランナー集団としての確固たる自信を持ち、
各部門の有機的結合をもって、
スタッフ全員の躍動的経営意識の高揚と
実践を基本方針とする。」



二代目 嘉村 浩男

「かくも長き不在」そして「かくも永き存在」

1961年フランス映画—16年前ゲシュタポにさらわれた「夫」と再会する妻の報われない話。
一方「かくも永き存在」は60年以上継続する設計事務所の物語。
創設主人公から二代・三代・そして四代と交代していても「積極的創意と調和」のテーマは、
そこに登場し、そこで活躍する人々によって描き続けられてきたのです。

「夫」の記憶をなんとか呼び覚まそうとする妻との空白の大きさ・落差は分断され継続で
きなかった「かくも長き不在」なのかもしれません。

一方、存在していないけれど継続している理念は、これからもずっと
「かくも永き存在！」



三代目 代表取締役会長 小林 一博

Anniv.



四代目 代表取締役社長 山宮 康延

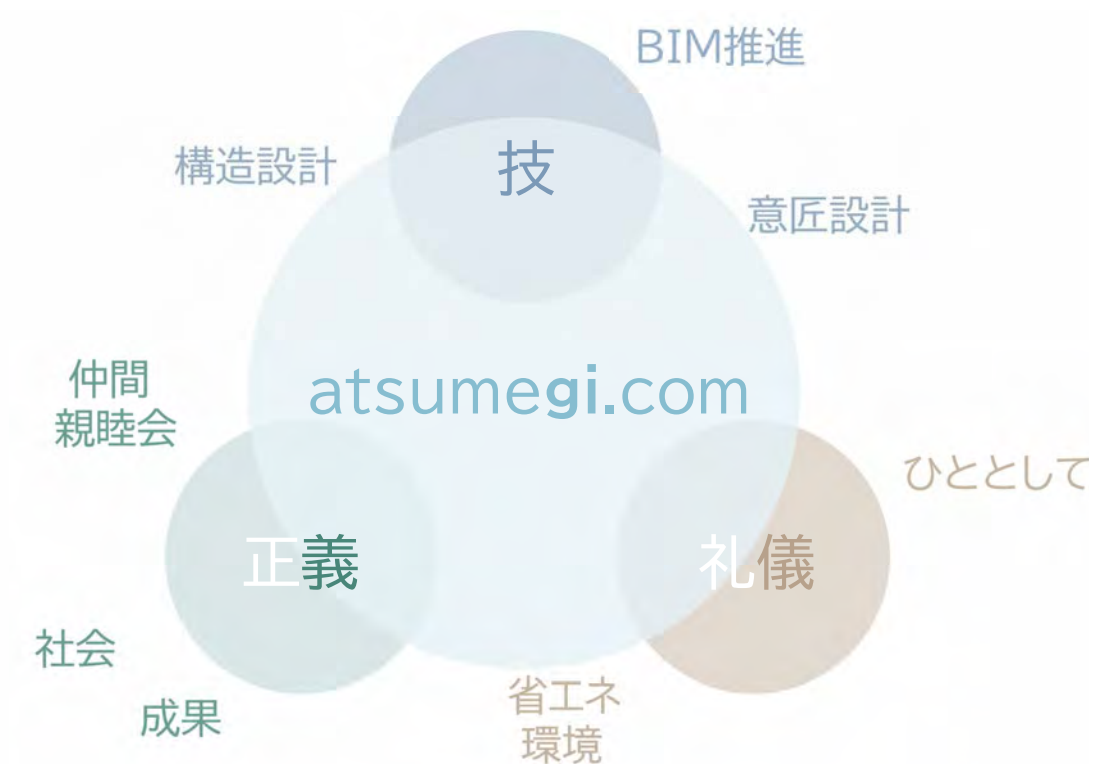
思い起こすと、小林建築事務所に入社し40年以上の年月が流れたことになります。駆け出しのころから今に至るまで数々の出来事がありました。今でも身が縮む思いのすることや、みんなで喜び合ったり笑い合ったりしたことや、様々なディスカッションなど数えきれないほどの思い出があふれてきます。

これまでに35周年、50周年の記念事業を開催してきておりますが、簡単に紹介しますと		
35周年 テーマ 通過点	50周年 テーマ ～繋(つなぐ)～	60周年 テーマ 彩【いろどり】
記念誌発行	記念社員旅行	記念社員旅行
祝賀会開催	作品展示会開催	作品展示会
	記念誌発行	記念誌発行
	祝賀会開催	祝賀会開催
		ホームページリニューアル

60周年のテーマは彩【いろどり】であります。このテーマのもと50周年と同様な事業をこの1年間活動してきました。さらに今回付け加えられたのがホームページのリニューアルであります。是非皆様にもご高覧いただけますと幸いです。

こうして、長い年月、この厚木の地で事務所を続けてこられたのも、お客様方のご厚情や県市町村との信頼関係、協力事務所の方々の絶え間ないご支援ご協力、諸先輩方の培ってきた信頼の歴史があつてのことと、ここに深く感謝と御礼を申し上げますと共に、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

我々の理念



1. 我々は、地域やクライアントの信頼に責任を持ち、より良い空間を創造していくために、強固な連帯意識をもって結合されたプランナー集団である。
1. 我々は、そのプロフェッションを通じてクライアントに繁栄をもたらすと共に、地域経済・文化の発展と環境保全に寄与することを目標とする。
1. 我々は、この目標を達成するために、創意と調和をもって積極的に行動し集団の永遠の発展を追求する。

小林建築事務所 沿革

1960

1970

1980

1990



1



2



3



4



5



6



8



9



10



11

1959 新生建築設計事務所
設立（小林榮喜智）—1
1965 ㈱小林青山建築事務所
設立—2
資本金 250 万円
1967 社名変更
㈱小林建築事務所
トキワヤビル—3

1970 受託件数 2,000 件
1971 資本金 800 万円
（増資第 1 回）
1973 小林ビル入居
（中町 2-11-10）—4
県立麻溝台高校—5
1977 相模原支所 開設
相模原支所 移転
1978 受託件数 3,000 件

1980 資本金 1,500 万円（増資第 2 回）
1983 相模原支所 移転
神奈川県優良工事表彰
（県営岡田団地）
プロポーザル 特定
（昭和 58 年度（仮称）
綾瀬市保健相談センター設計委託）
1985 資本金 2,100 万円（増資第 3 回）
社長交代（嘉村浩男）
1987 さわぎビル入居—6
1988 プロポーザル 特定（（仮称）
寒川町消防庁舎建設工事の設計）
1989 相模原支所廃止
寒川町消防庁舎—7

1991 長後中学校—8
1994 特別養護老人ホーム敬和荘—9
秦野市立本町公民館—10
1996 プロポーザル 特定
（愛川ふれあいの村増築工事
設計業務）
1998 日本建築士事務所協会連合会
奨励賞受賞（K 邸）
1998 愛川ふれあいの村—11
1999 プロポーザル 特定
（東名厚木病院（仮称）北棟増築
工事設計監理）



1964 東京オリンピック



1970 大阪万博



1980 バベル景気



1998 明石海峡大橋記念セレモニー

2000



12



13



14



15

- 2000 法人設立 35 周年
- 2001 プロポーザル 特定（秦野警察署新築工事調査基本設計業務委託）
- 2002 受託件数 4,000 件
東名厚木病院北棟増築 —12
- 2005 プロポーザル 特定（自然環境保全センター新築工事調査設計業務）
- 2006 寒川図書館—13
神事協設立 30 周年記念コンペ最優秀賞
- 2007 とうめい厚木クリニック—14
- 2008 社長交代（小林一博）
プロポーザル 特定（第 61 回全国植樹祭お野立て所設計業務委託）
- 2009 自然環境保全センター—15



2002 日韓共催ワールドカップ

2010



16



17



18

- 2010 愛歩保育園—16
- 2012 神奈川県知事優良工事表彰（設計）（津久井高校）
- 2013 プロポーザル 特定（カトリック大和教会（仮称）信徒第 1 会館新築工事）
- 2014 第 7 回神奈川県バリアフリー街づくり賞受賞（愛川町健康プラザ）
プロポーザル 特定（（仮称）厚木市健康こどもの森管理棟・作業小屋設計施工業務）
プロポーザル 特定（海老名駅西口公衆トイレ建設工事設計業務）
- 2015 法人設立 50 周年
神奈川県県土整備局長表彰（設計）（厚木商業高校体育館）
- 2016 特別養護老人ホームきくの郷—17
- 2018 あつぎ郷土博物館—18
- 2019 神奈川県優良工事等表彰（設計）（高浜高校）
神奈川県住宅営繕事務所優良工事等表彰（吉田島高校・秦野養護学校）
厚木土木事務所優良工事等礼状（七沢森林公園）
プロポーザル 特定（県営伊勢原団地基本計画業務委託）



2012 東京スカイツリー

2020



19



20



21



22

- 2020 あしがり郷交流拠点施設—19
内陸工業団地会館
厚木消防署南毛利分署—20
津久井合同庁舎
社長交代（山宮康延）
- 2021 吉田島高校実習棟
- 2022 ドレーパー記念幼稚園
- 2023 県営伊勢原団地
- 2024 県営二宮団地—21
厚木王子高校—22
受託件数 4,800 件
神奈川県住宅営繕事務所優良工事等施工業者表彰（吉田島高校・高浜高校）



2022 東京オリンピック

2025



23



24

- 2025 村岡市民センター—23
- 2026 コミュニティセンター
下鶴間会館—24



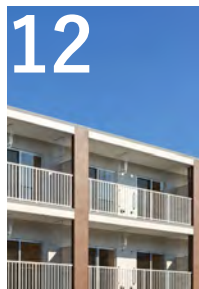
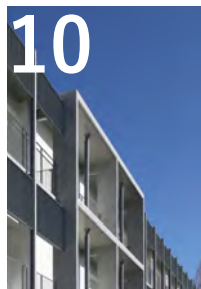
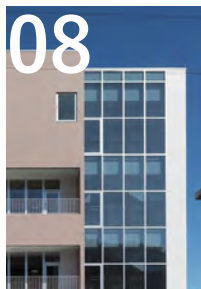
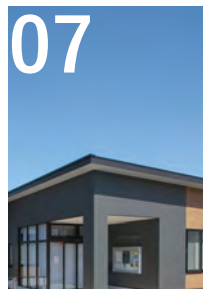
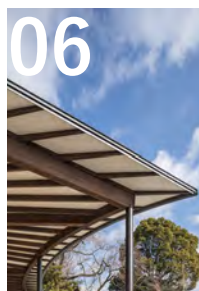
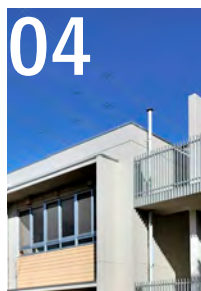
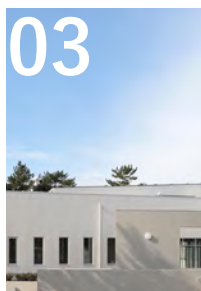
2025 大阪・関西万博

CONTENTS

010203

2016-2026年を代表する建築

01.厚木清南高校柔剣道場 /02.人の森華嚴工場休憩所 /03.あつぎ郷土博物館 /04.秦野養護学校高等部校舎 /05.翼咲保育園
06.あしがり郷交流拠点施設 /07.内陸工業団地会館 /08.津久井合同庁舎 /09.厚木消防署南毛利分署 /10.吉田島高校実習棟
11.ドレーパー記念幼稚園 /12.県営伊勢原団地 /13.県営二宮団地 /14.厚木王子高校 /15.村岡市民センター
16.コミュニティセンター下鶴間会館



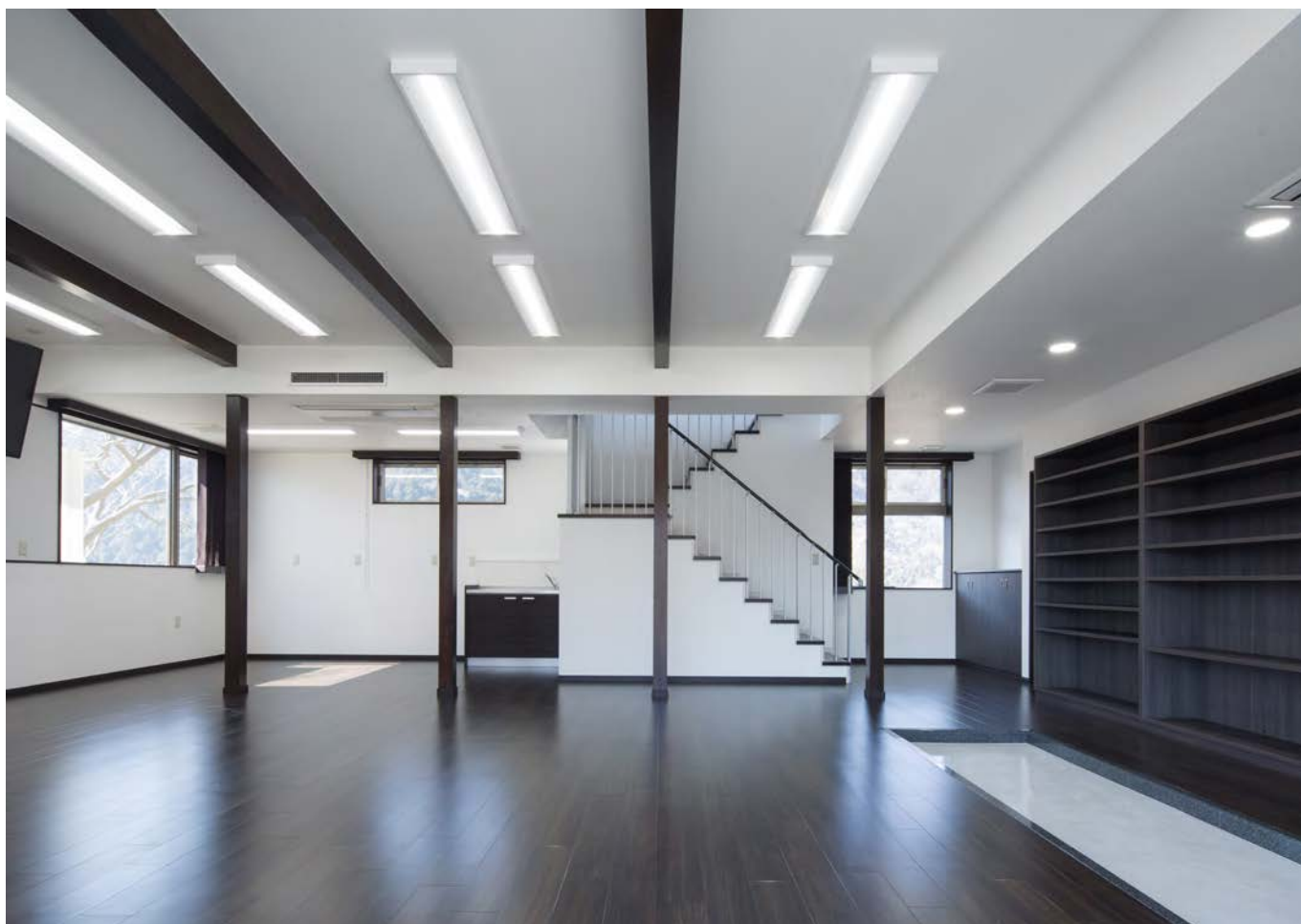
01

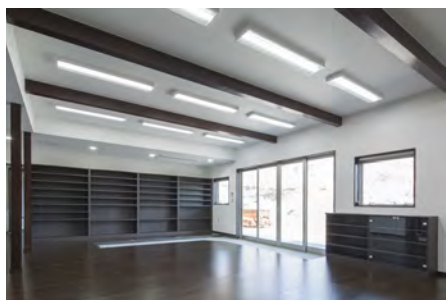
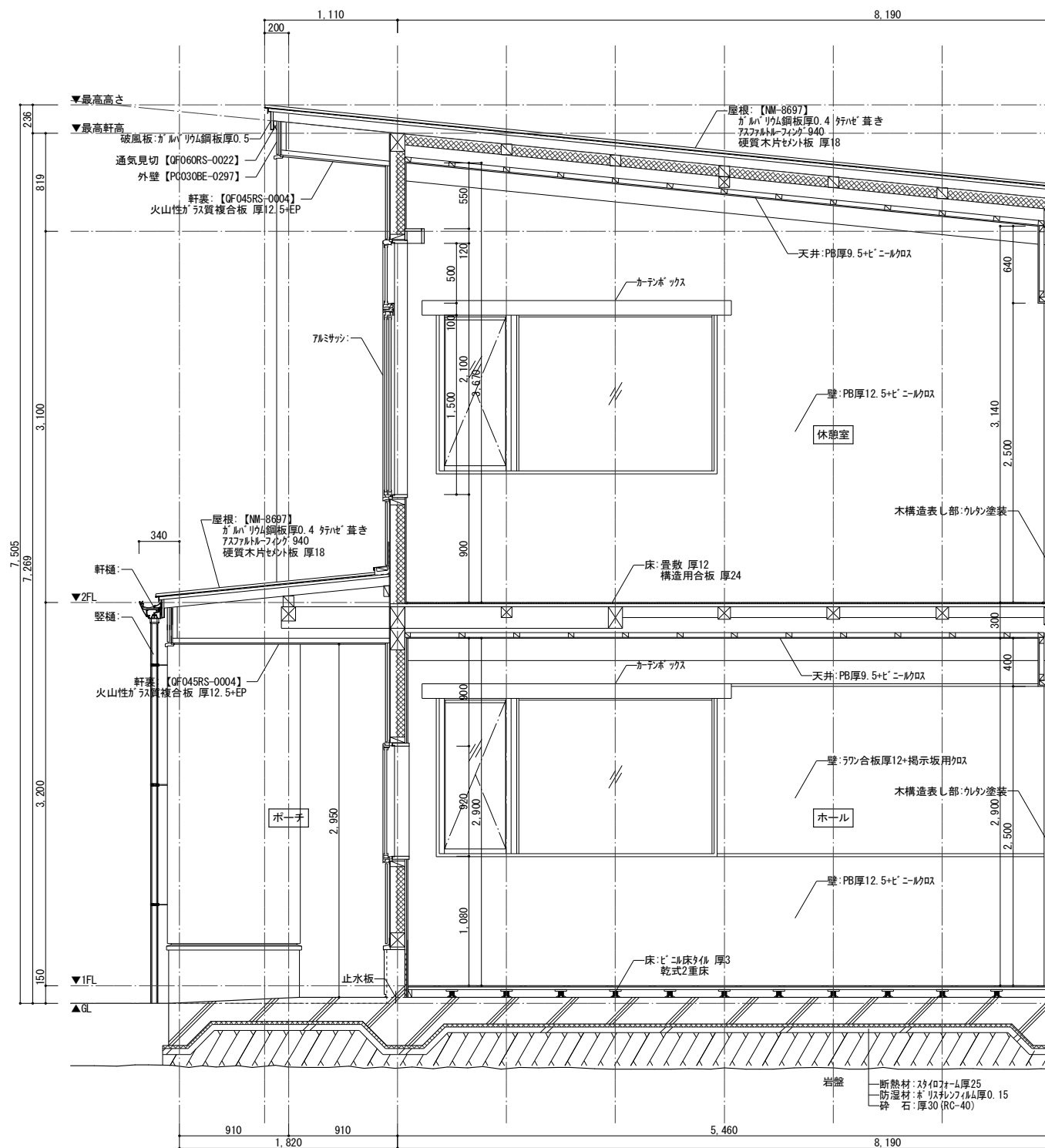
厚木清南高校柔剣道場



02

人の森華厳工場休憩所





03

あつぎ郷土博物館



設計・監理

総括：金井良夫

建築：前原洋志

構造：坂田建築士事務所 坂田興平

電気：設備設計カネコ 金子浩行

機械：三浦設計室 越本幸彦

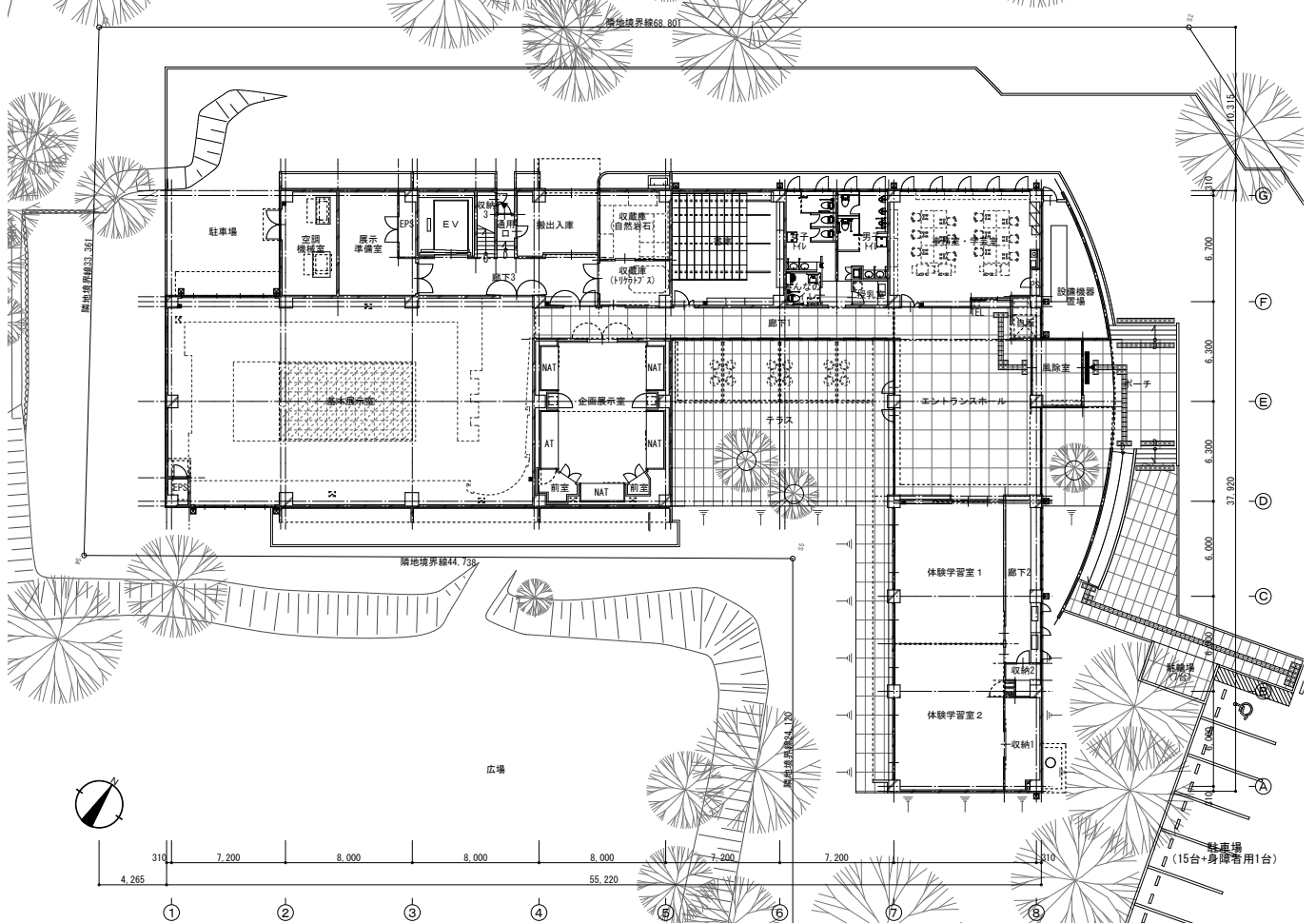
【建築概要】

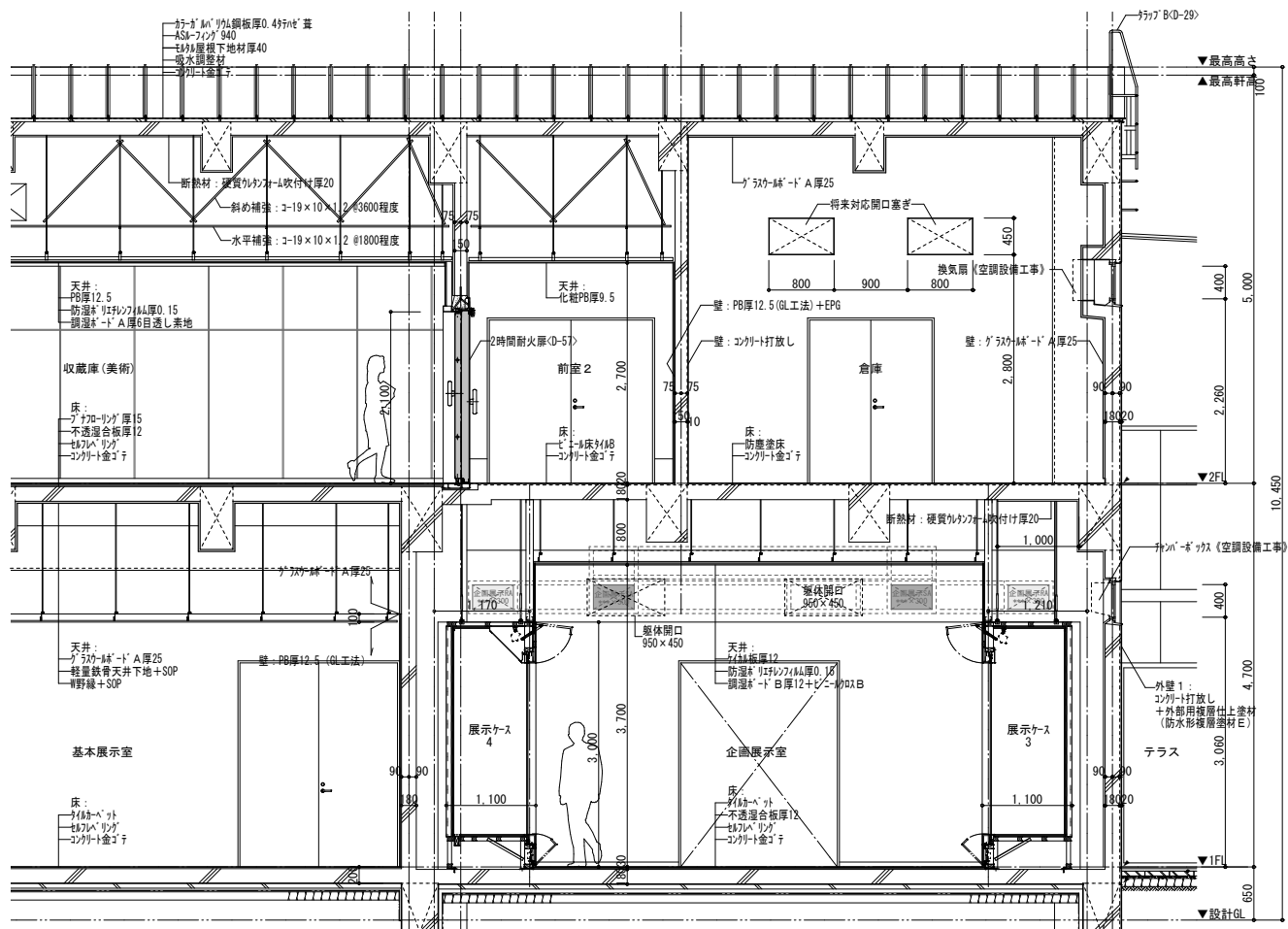
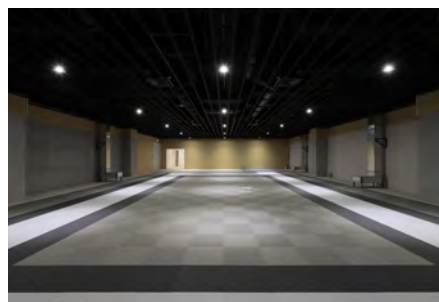
所在地 神奈川県厚木市下川入

竣工年 平成 30 年

延べ面積 1,590.10 m²

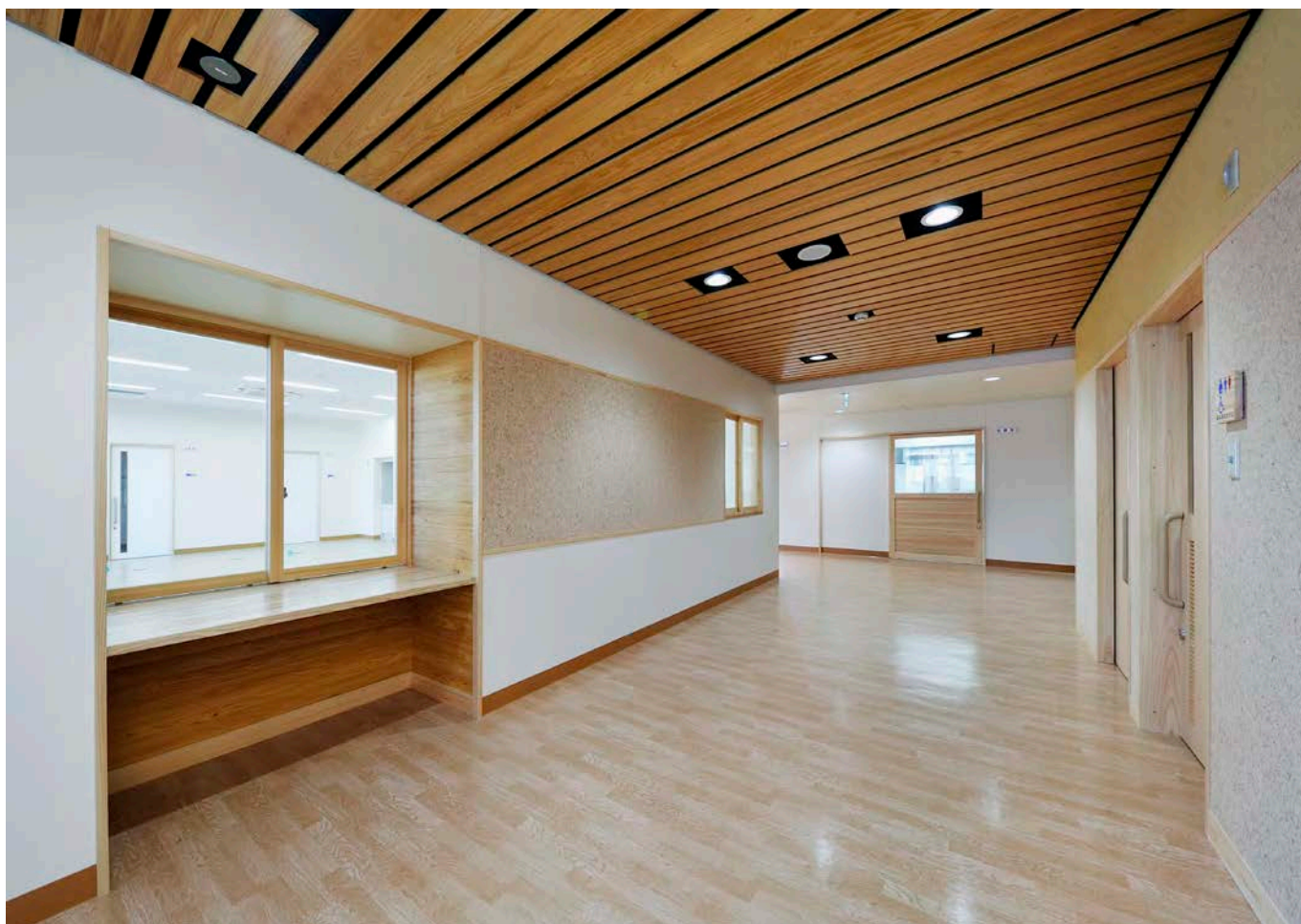
構造規模 RC 造 2 階建

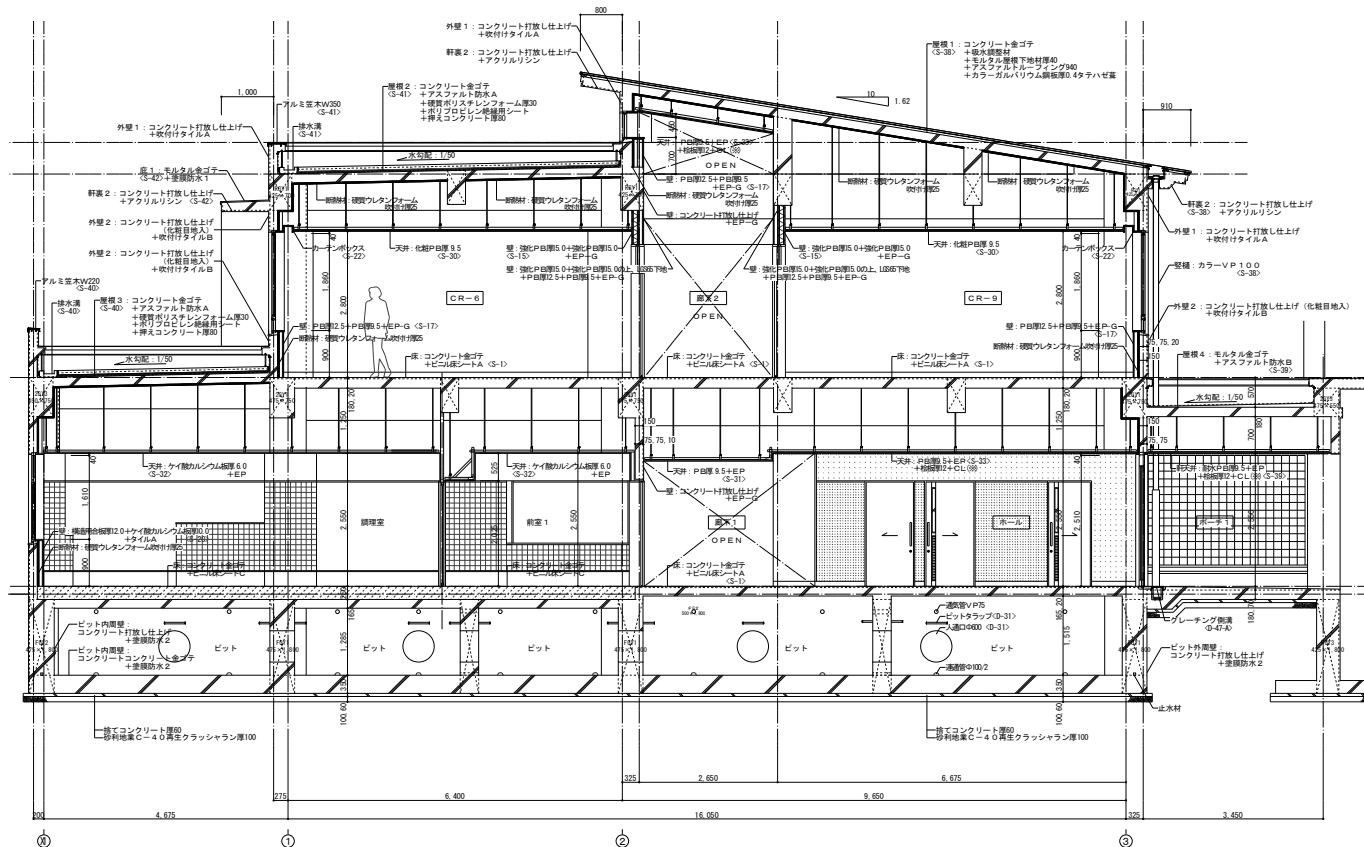




04

秦野養護学校高等部校舎





05

翼咲保育園



設計・監理

総括：湯山泉

建築：足立友紀、渡邊建夫

構造：矢川建築設計事務所 矢川謙也

電気：ケーエフ総合設備事務所 藤倉千明

機械：ケーエフ総合設備事務所 木口健一

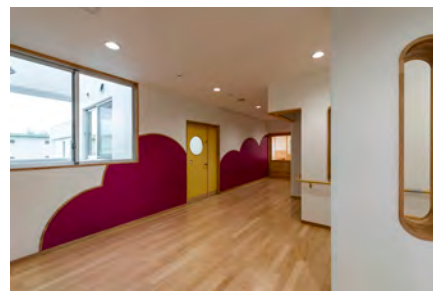
【建築概要】

所在地 神奈川県厚木市妻田南

竣工年 平成31年

延べ面積 1,020.35 m²

構造規模 RC造3階建





06

あしがり郷交流拠点施設



設計・監理

総括：湯山泉

建築：渡邊建夫

構造：シェルター 伊藤克彦

電気・機械：シー・ディー・アール 北村一郎

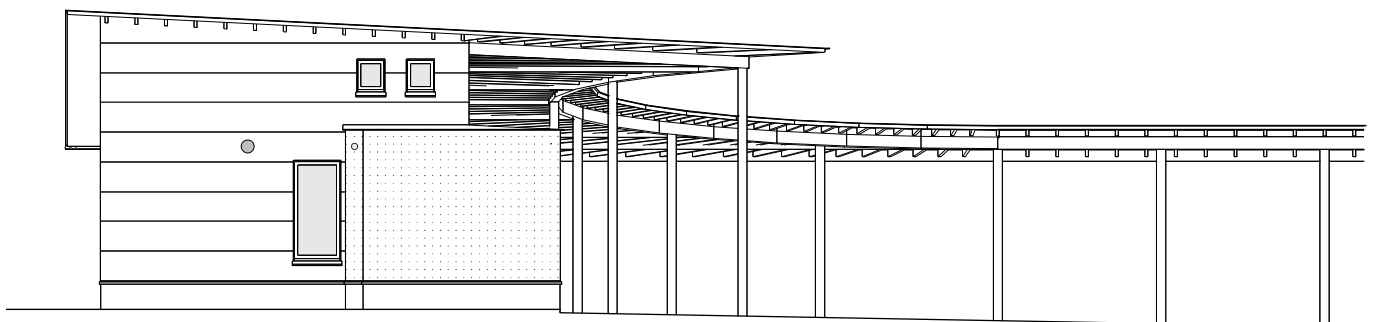
【建築概要】

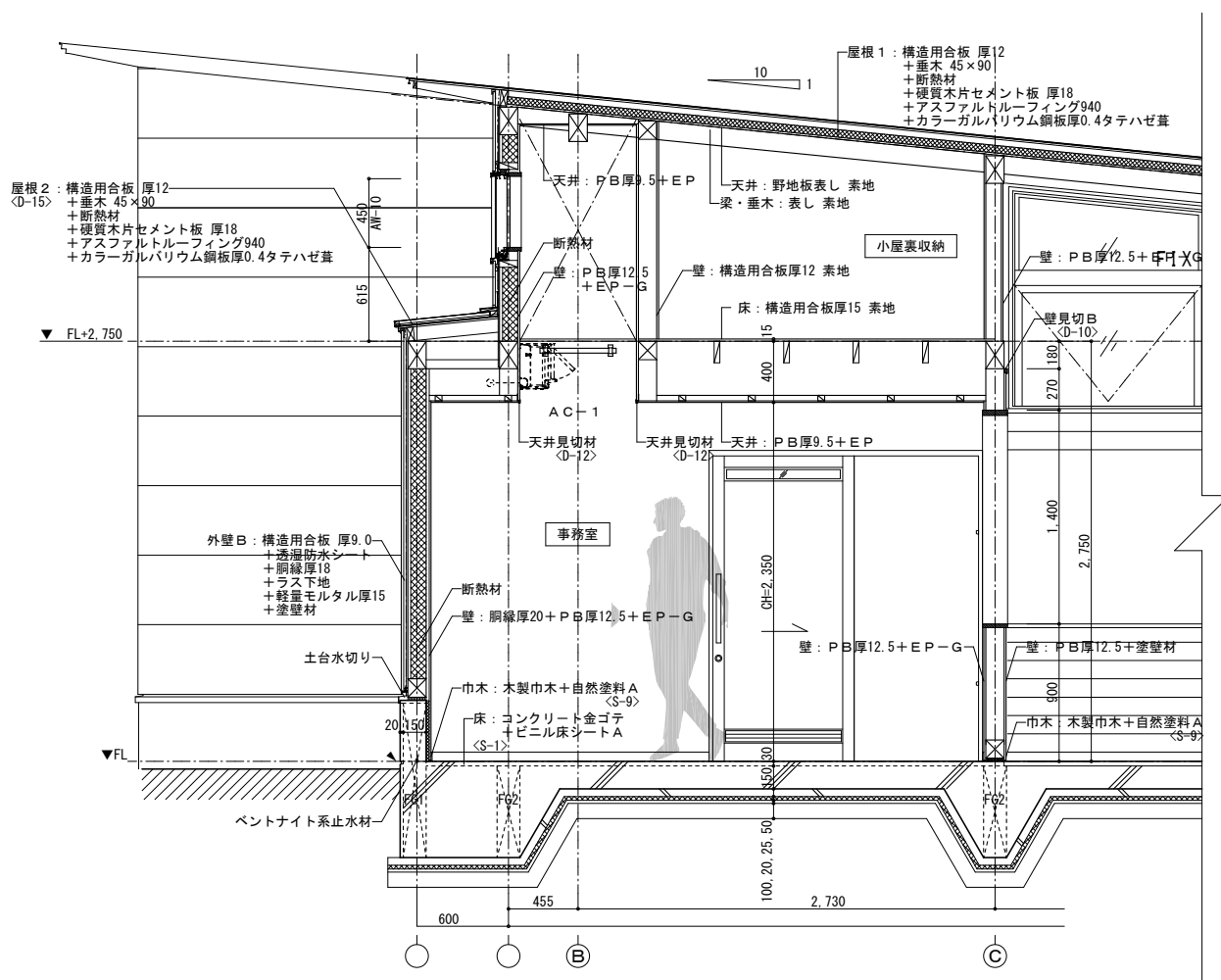
所在地 神奈川県足柄上郡開成町金井島

竣工年 令和2年

延べ面積 159.25 m²

構造規模 木造 + S造平屋建





07

内陸工業団地会館



08

津久井合同庁舎

設計・監理
総括：湯山泉
建築：草山俊二、足立友紀
構造：矢川建築設計事務所 矢川謙也
電気：設備設計力ネコ 金子浩行
機械：三浦設計室 渋谷誠、金井哲男

【建築概要】
所在地 神奈川県相模原市緑区中野
竣工年 令和2年
延べ面積 2,996.88㎡（本館棟）
構造規模 RC造4階建



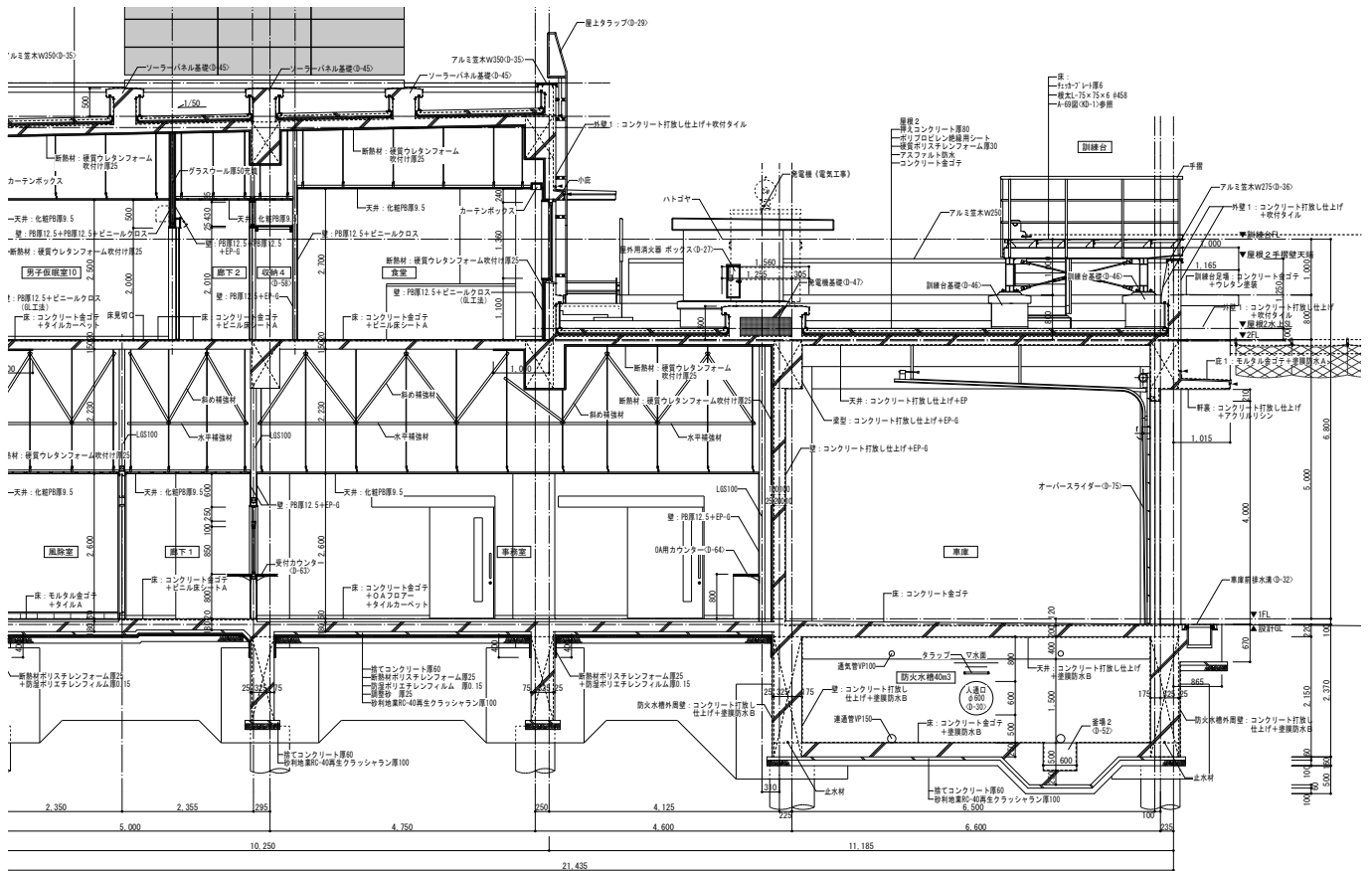
09

厚木消防署南毛利分署



設計・監理
総括：湯山泉
建築：足立友紀
構造：A & A 構造研究所 竹内軌道
電気：設備設計カネコ 金子浩行
機械：三浦設計室 越本幸彦

【建築概要】
所在地 神奈川県厚木市長谷
竣工年 令和3年
延べ面積 772.79 m² (訓練棟：50.03 m²)
構造規模 RC造2階建 (訓練棟：S造)





10

吉田島高校実習棟



設計・監理

総括：金井良夫

建築：川口恒

構造：海老沼義男

電気：設備設計力ネコ 金子浩行

機械：三浦設計室 渋谷誠、金井哲男

【建築概要】

所在地 神奈川県足柄上郡開成町吉田島

竣工年 令和3年

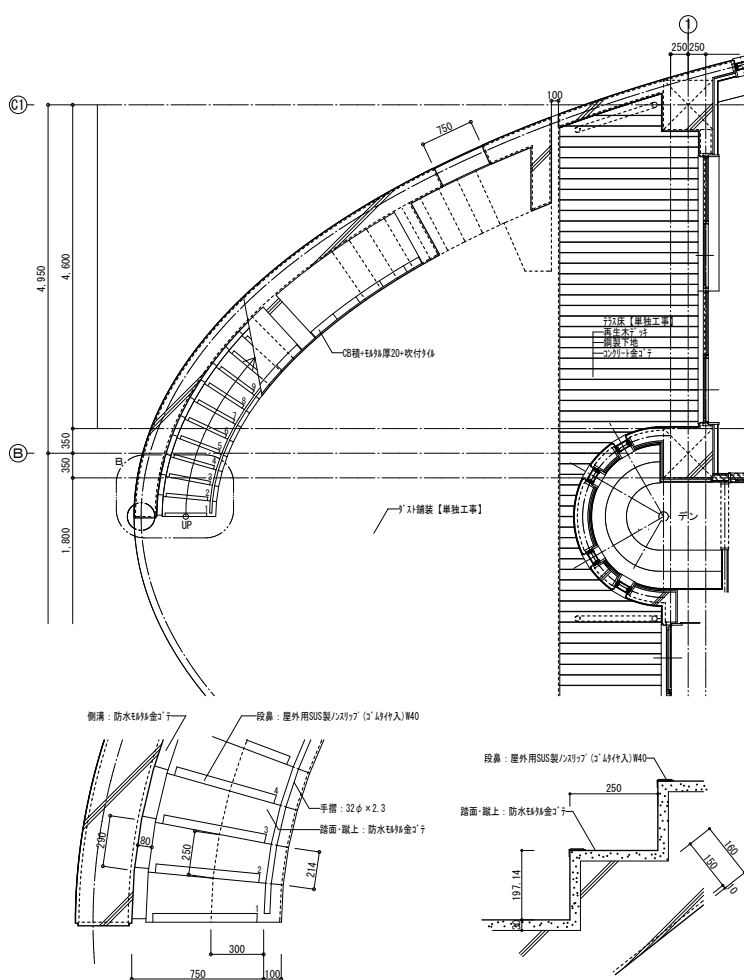
延べ面積 4,528.24㎡（実習棟）

構造規模 RC造3階建



11

ドレーパー記念幼稚園





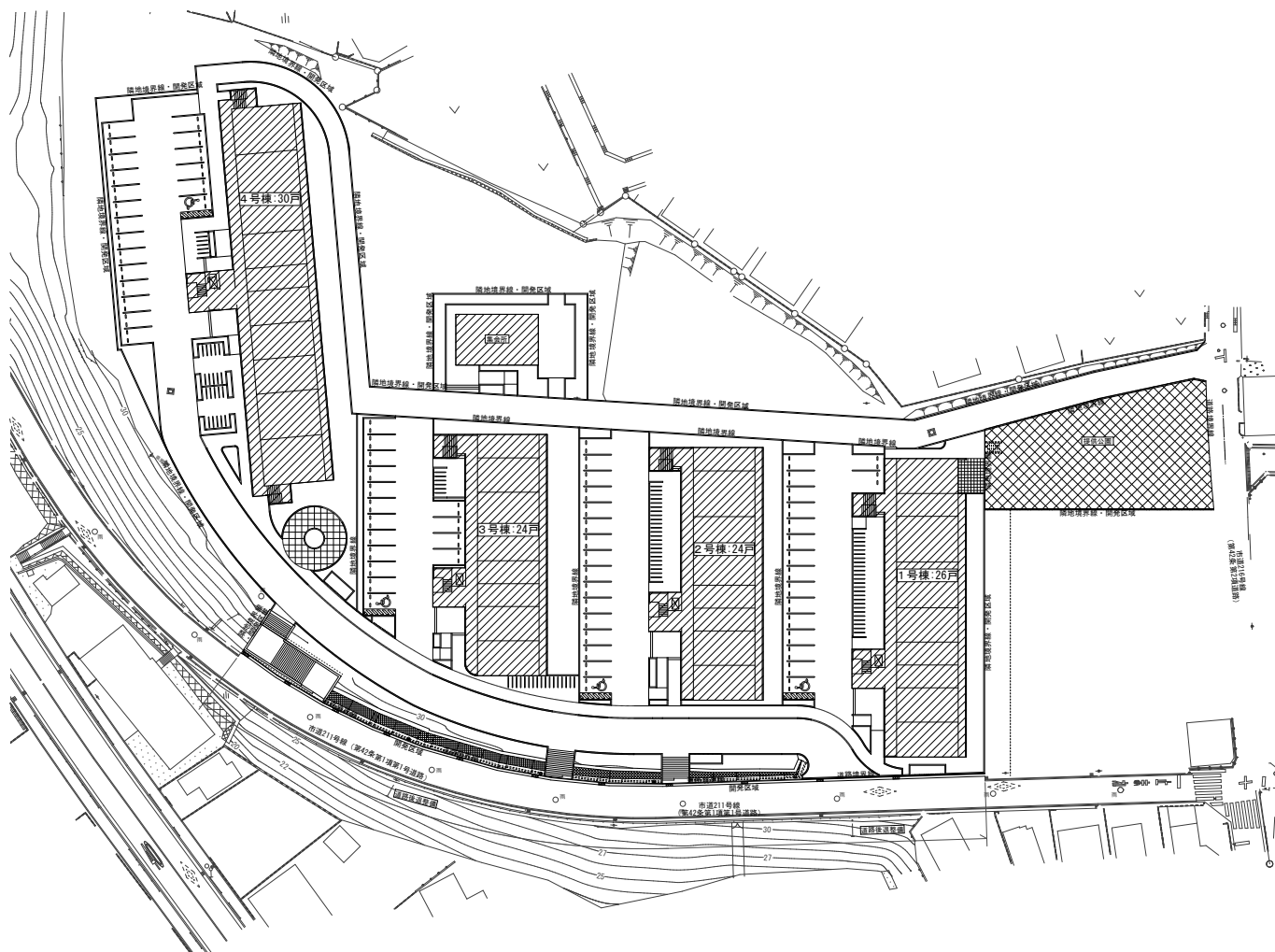
12

県営伊勢原団地



設計・監理
総括：湯山泉
建築：足立友紀、荻山健太郎
構造：海老沼義男
電気：設備設計力ネコ 金子浩行
機械：三浦設計室 越本幸彦

〔建築概要〕
所在地 神奈川県伊勢原市八幡台
竣工年 令和5年
延べ面積 1,496.70㎡（1号棟）
1,238.86㎡（2号棟）
構造規模 RC造3階建





13

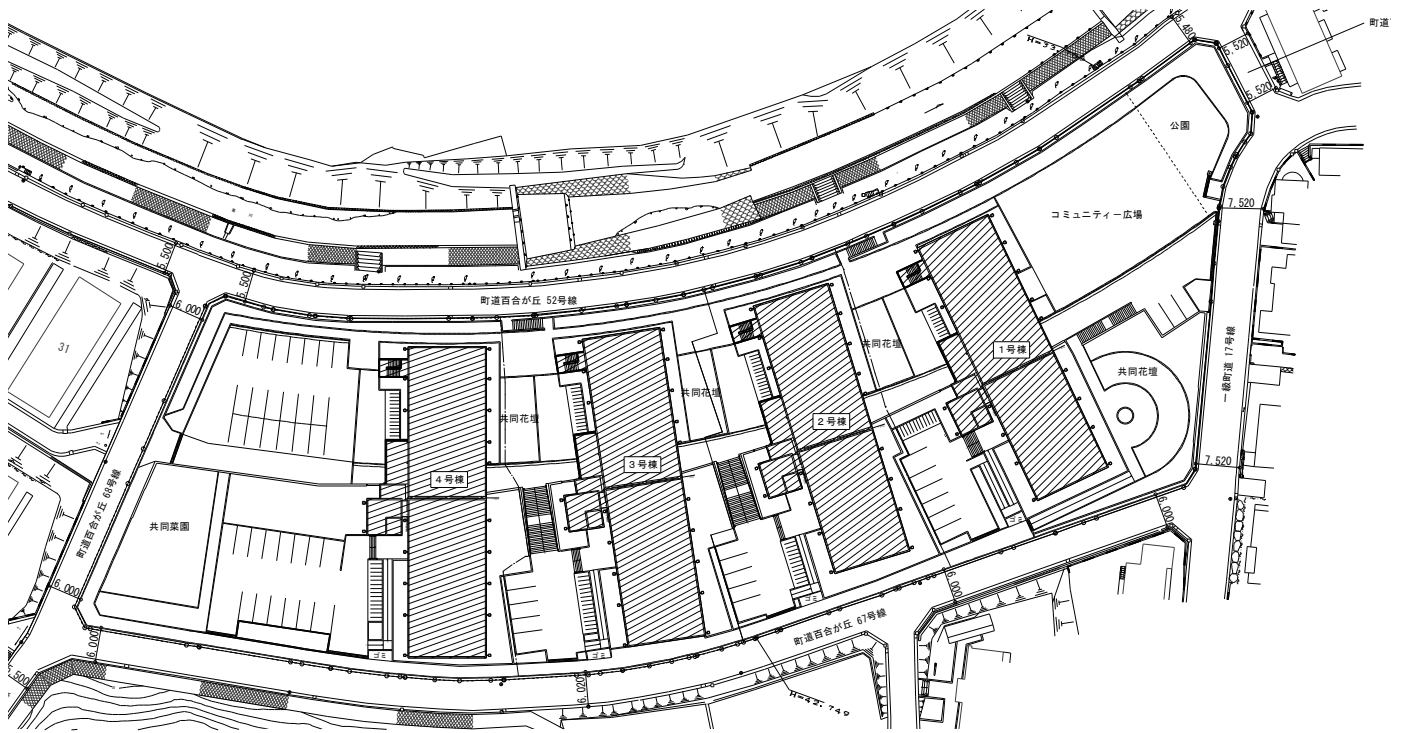
県営二宮団地



設計・監理
総括：湯山泉
建築：渡邊建夫
構造：海老沼義男
電気：設備設計力ネコ 金子浩行
機械：三浦設計室 越本幸彦

〔建築概要〕
所在地 神奈川県中郡二宮町百合が丘
竣工年 令和6年
延べ面積 1,725.19㎡（1号棟）
1,721.26㎡（2号棟）
構造規模 RC造3階建



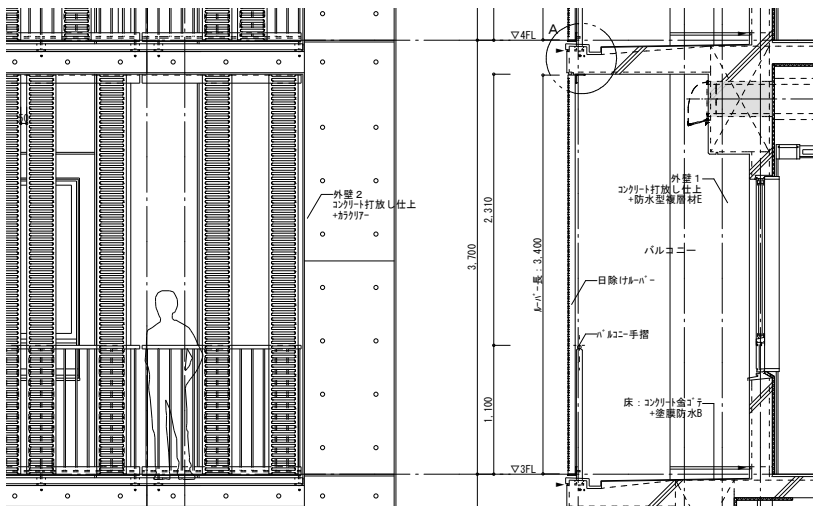
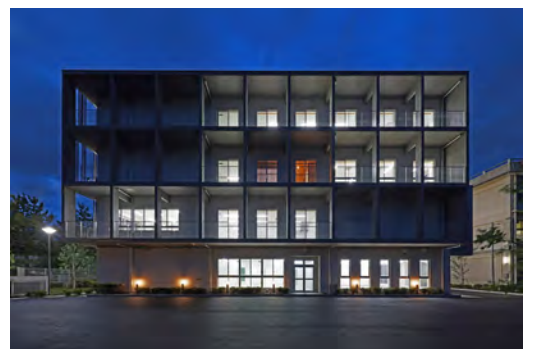
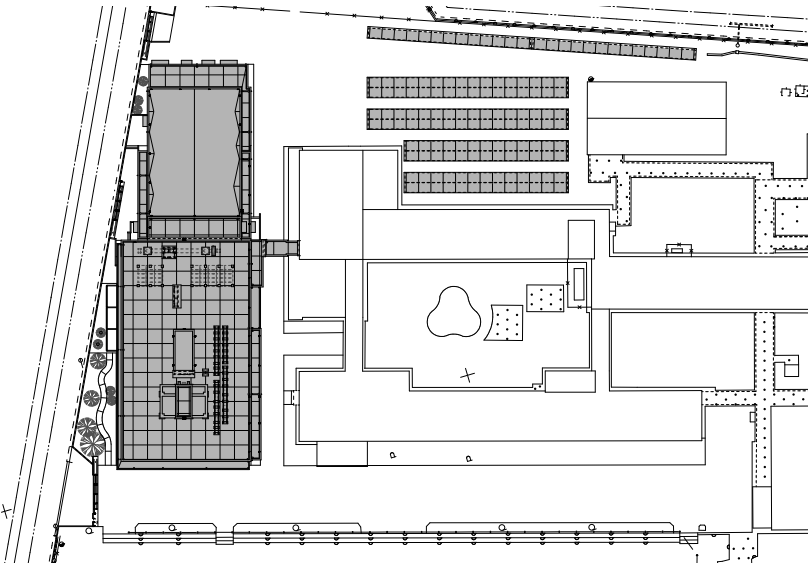


14

厚木王子高校

設計・監理
 総括：金井良夫
 建築：前原洋志
 構造：海老沼義男
 電気：設備設計力ネコ 金子浩行
 機械：三浦設計室 渋谷誠、金井哲男

[建築概要]
 所在地 神奈川県厚木市王子
 竣工年 令和6年
 延べ面積 6,292.31㎡（増築棟）
 構造規模 RC造4階建

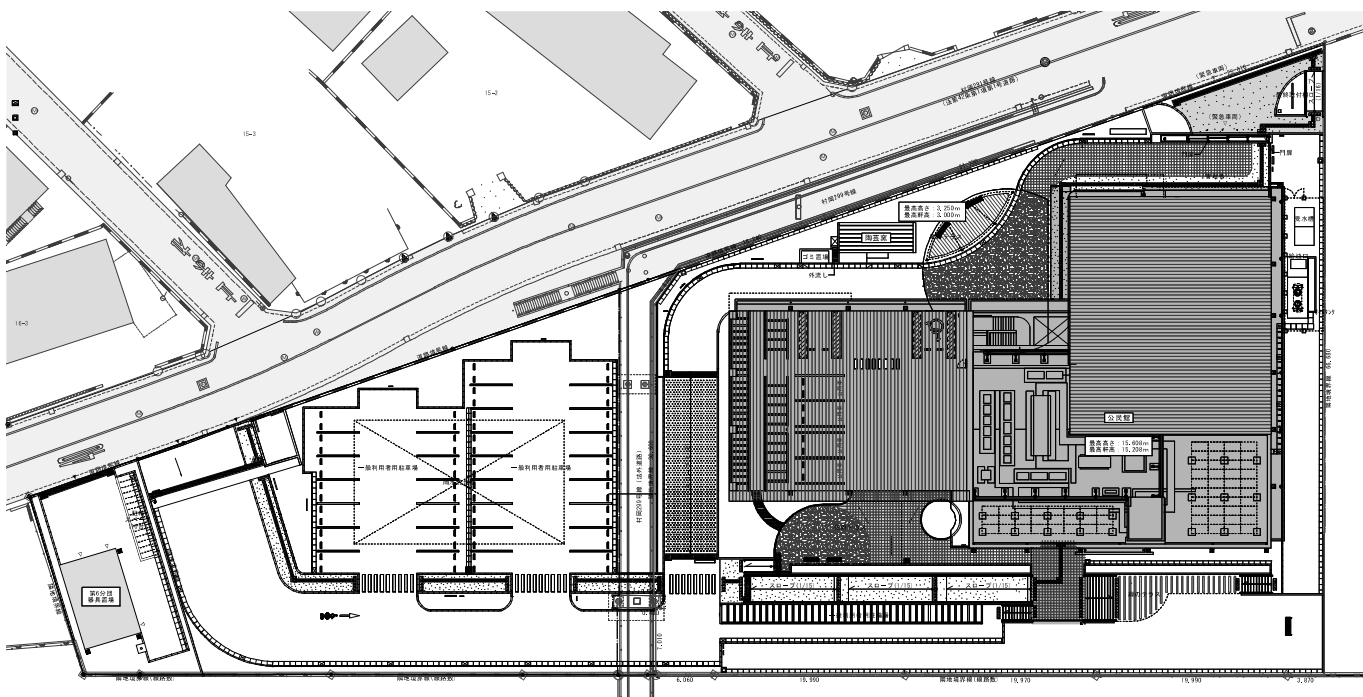


15

村岡市民センター

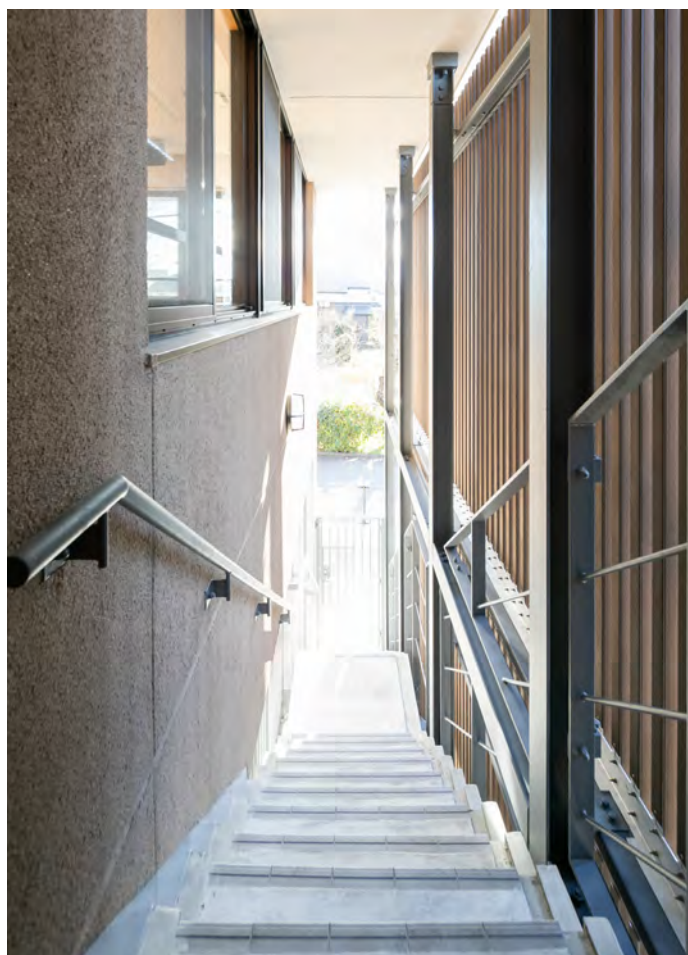
設計・監理
 総括：湯山泉
 建築：渡邊建夫
 構造：海老沼義男
 A & A 構造研究所 宮坂宏之
 サガミ構造技研 竹内軌道
 電気：シー・ディー・アール 北村一郎
 機械：三浦設計室 渋谷誠、金井哲男

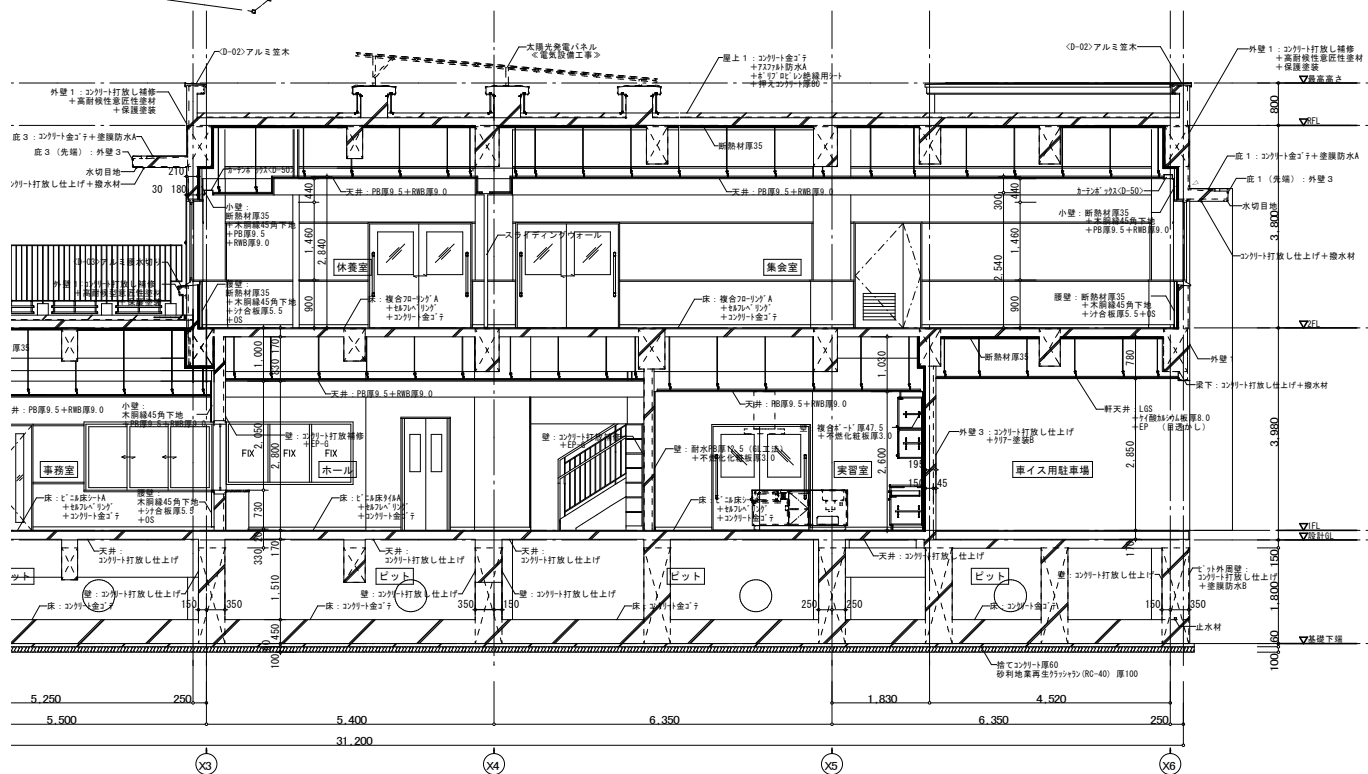
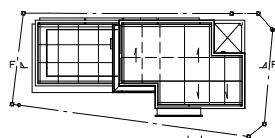
【建築概要】
 所在地 神奈川県藤沢市村岡東
 竣工年 令和7年
 延べ面積 4,072.70 m² (公民館)
 構造規模 RC造一部SRC造3階建



16

コミュニティセンター下鶴間会館





CONTENTS

010203

プロポーザル

- 01. 大和市立図書館施設改修工事設計業務委託プロポーザル
- 02. 社会福祉法人かながわ共同会秦野精華園新施設建設計画プロポーザル
- 03. 豊島区長崎健康相談所改築設計業務プロポーザル
- 04. J R 東逗子駅前複合施設整備事業基本設計業務委託プロポーザル
- 05.(仮称) 雪ノ下消防出張所新築工事設計業務委託公募型プロポーザル





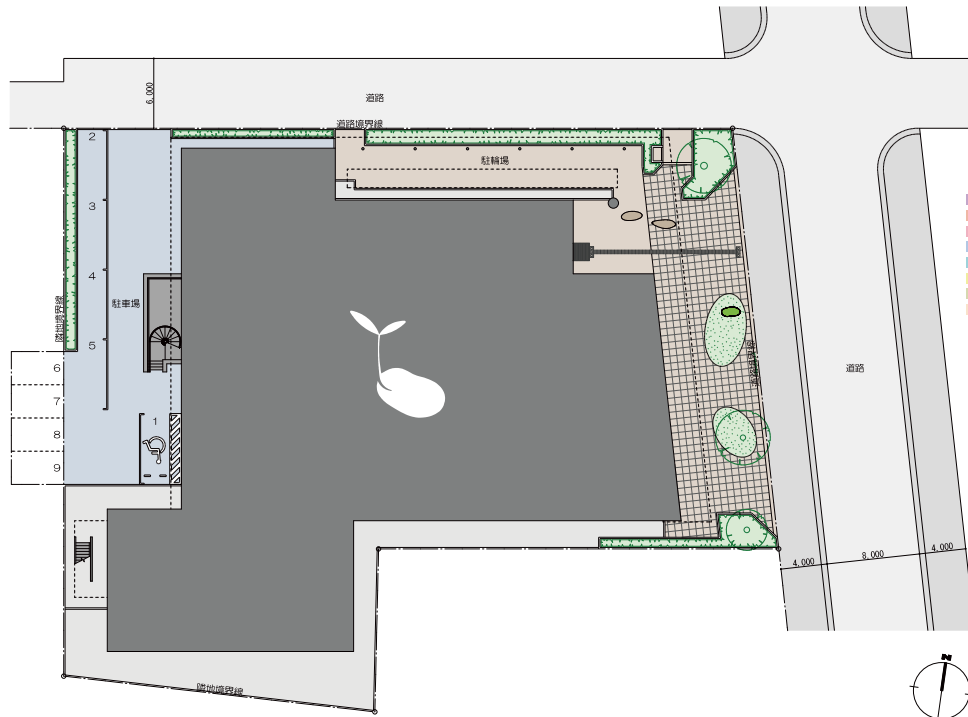
- 市民がいきいきと活動できる場
- 世代を超えて出会い交流できる場
- 町を元気にする団体が共に育ち合える場
- 市民の起業意欲や産業活動を支援する場

■コンセプト

seed [シード]：種子・種・根源

やがて生み出されて発芽してくるであろうアイデア・思考・コミュニケーションなど多様な可能性を生成蓄積する「容器」

左記の①～④の4要素を主要な栄養素として、地域の団体や世代を超えた市民、外国人などさまざまなひとびとが集い、いきいきとした活動が芽生え、育まれる大きな容器＝広場という意味を込めて、この施設を「・丸い・やまといきいき広場」と名づけ、これをコンセプトに各階フロアゾーニング及び改修計画を提案する。



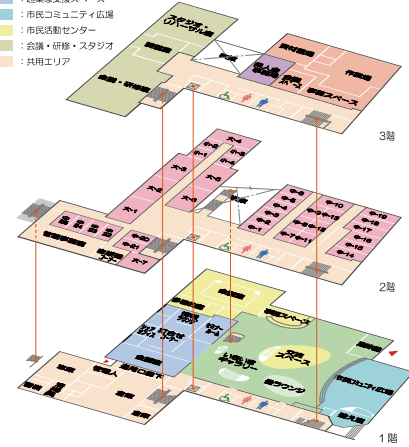
■階別床面積

階	床面積
1F	80,038㎡
2F	80,038㎡
3F	981,387㎡
4F	14,351,365㎡
5F	12,470㎡
6F	891,782㎡
延べ面積	4091,332㎡

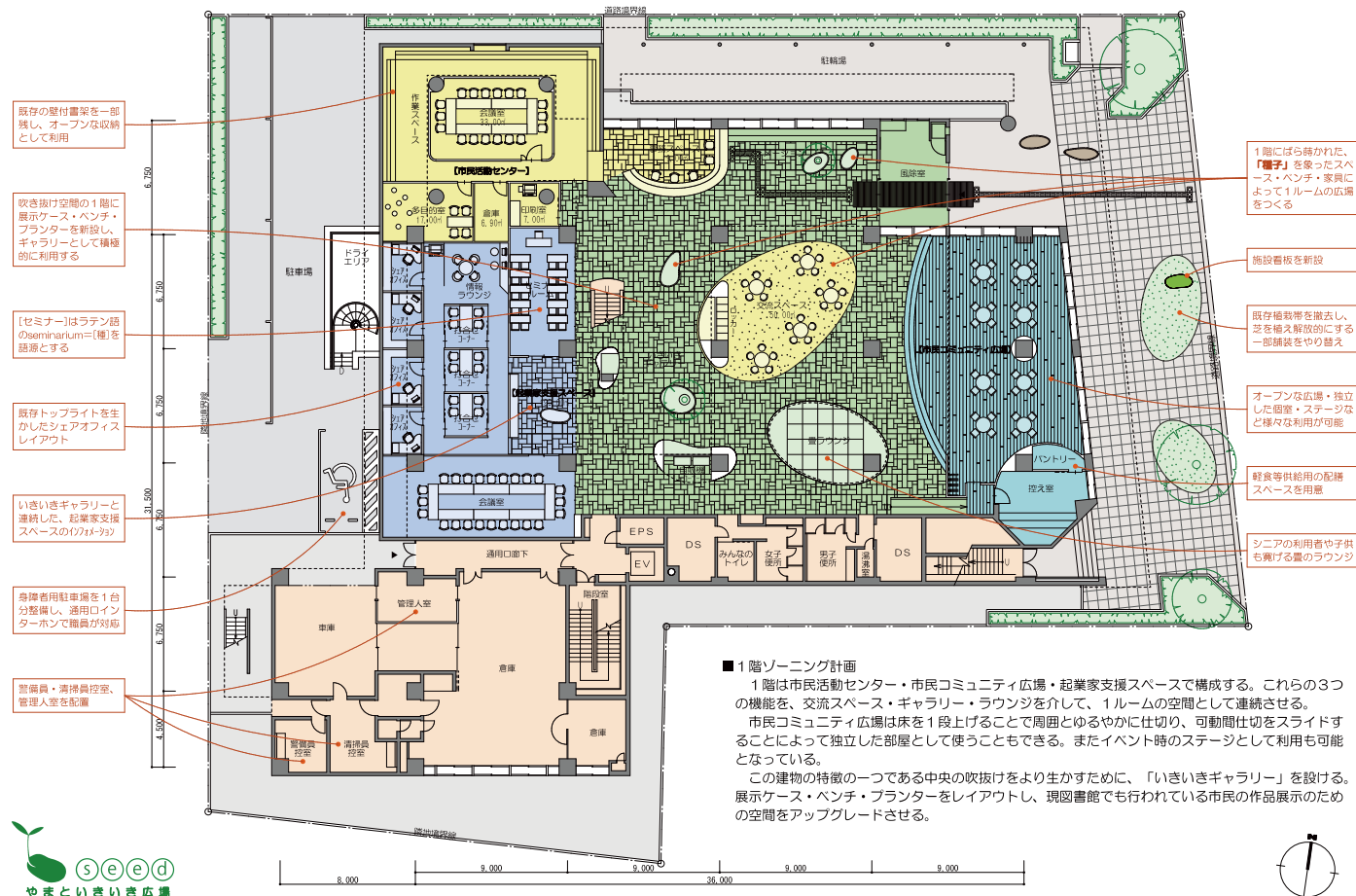
■用途別床面積

区分	用途	必要面積	計画面積
A. 市民サークル等の活動広場	図書一大(100)	100	145.47㎡
	図書一中(50)	50	261.15㎡
	図書一小(15)	15	29.98㎡
B. 市民コミュニティ広場	交流スペース	45	117.50㎡
	事務スペース	15	38.00㎡
C. 市民活動センター	多目的室	30	33.00㎡
	会議室	7	17.00㎡
D. シルバー人材センター	会議スペース	5	6.90㎡
	印刷室	5	7.00㎡
E. 老人会連合会事務局	事務スペース	5	35.40㎡
	会議スペース	5	22.10㎡
F. 起業家支援スペース	作業室	90	91.00㎡
	資料置き場	40	42.70㎡
G. 老人会連合会事務局	作業室	20	34.70㎡
	資料置き場	100-200	193.00㎡

- ：老人会連合会事務局
- ：シルバー人材センター
- ：市民サークル等の活動広場
- ：起業家支援スペース
- ：市民コミュニティ広場
- ：市民活動センター
- ：会議・研修・スタジオ
- ：共用エリア



■フロアゾーニング計画





計画案の説明① コンセプト～配設計画

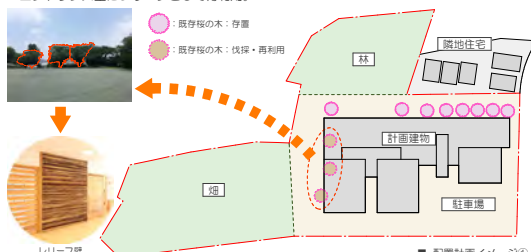
あじさい ～家づくりへのコンセプト～

小さな花びら（萼〈ガク〉）が寄り集まって一つの花として咲くあじさい。そんなあじさいの咲く姿からは家族のような温かさ強い結びつきが感じられます。今回の計画においても各ゾーンの関係性、管理者と入所者の信頼関係はあじさいの花のような温もりある強い結びつきが求められるのではないかと考えます。平成17年に新しく秦野市の花として指定されたあじさいを今回の提案のモチーフとして設定し、「施設」感を出さず自然に感じられるよう心がけ、入所者一人ひとりが尊重された「家族」が集まる温かみのある「家」づくりを目指します。

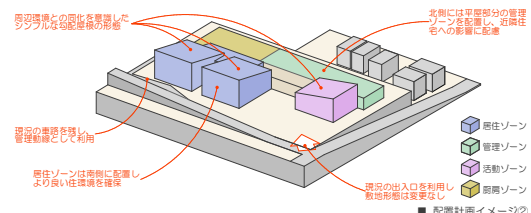
周辺環境に配慮した配設計画・建物形態

今回設定された計画敷地は西側に植物を栽培している畑やビニールハウス、北側には原木栽培が行われている林、グラウンド内には桜の木が植わっており、また北側東寄りの隣地には住宅が建っている。これら既存の植生を可能な限り残し、隣地に配慮しつつ既存の地形を生かした建物配置を計画した。

- ◆既存の植生を出来るだけ残すため、建物を現グラウンド用地に配置。
- ◆南東の計画地出入口に近い位置に車椅子利用者用1台を含む駐車場21台分を確保。
- ◆グラウンド北側の桜はすべて残す配設計画。配設計画上やむを得ず伐採される西側の桜(3本)はエントランス壁にリーフとして再利用。



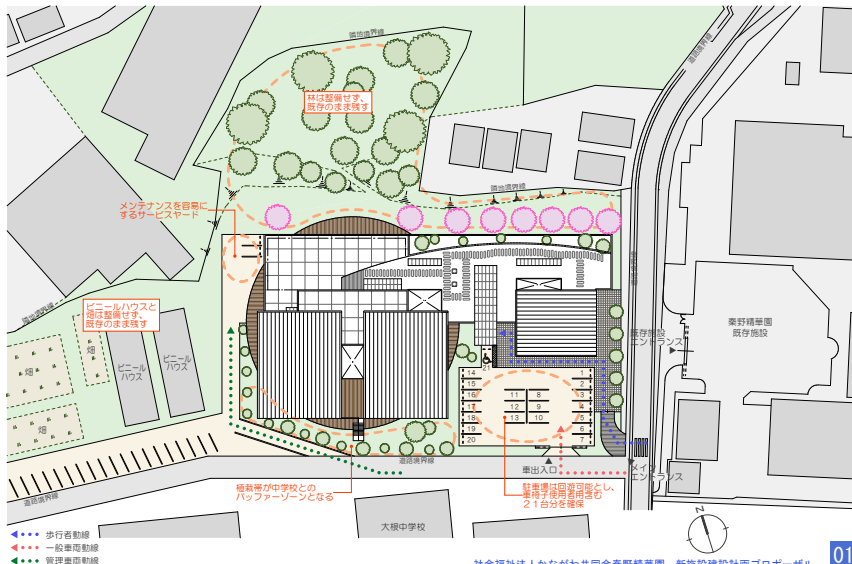
- ◆建物(計画地)へのアクセスは歩行者、一般車庫、管理車庫すべて勾配のある道路形態を考慮して、現況のグラウンド出入口、車路を踏襲し、既存地形・工作物を大きく変更しない計画。
- ◆より良い住環境を確保するため2階建ての居住ゾーンを南側に配置。
- ◆北側隣地の住宅への計画建物による日影や圧迫感を考慮、また夜間の騒音にも配慮し、平屋となる管理ゾーンを北側に配置。
- ◆2階建て部分は大きなボリュームとならないよう3つのボックスに分け、周辺環境との同化を意識して、シンプルな勾配屋根の建物形態とする計画。



■ 提案コンセプトイメージ



■ 外観イメージ



計画書の説明② 平面計画

管理者・入居者のためのゾーニング

管理者にとっては管理しやすい、利用者・入居者にとっては分かりやすく、利用しやすい建物となるよう各部門・各室のレイアウト・ゾーニング計画を行った。

居住ゾーン
入居者居室
短期入居者居室
入居者食堂
ダイニング
利用トイレ・浴室
利用洗面所・洗面
汚物処理室
倉庫
保管庫

- ◆2階建てとし、1階に12室のユニット、2階に13室のユニットをそれぞれ2つ配置。各ユニット毎に2〜3名、合計10名の短期入所に対応可能。
- ◆光庭に面してダイニング・食堂を配置。その周りを囲むように北向きとならないよう南・東・西に面して入居者居室・短期入居者居室を配置し、日常生活の場である居住スペースが明るく快適な空間となるよう計画。
- ◆各ユニットの食堂には支援員スペースを設け、入居者の見守りに配慮。
- ◆共用のトイレ・洗面・浴室・洗濯室の水回り空間はひととために各ユニットの北側に、汚物処理室はトイレ・洗濯室との動線に配慮した位置に配置し、入居者、管理者それぞれの利便性に配慮。
- ◆各階に保護室を設置することを目指す。



活動ゾーン
作業室
製パン作業室
喫茶室
調理スペース

- ◆住居と活動の場を明確に分けて生活リズムをつくれるよう、居住ゾーンとはできるだけ離れた位置に配置。
- ◆外部からの一般利用がある喫茶室は計画出入口に近い位置に配置し、1階を販売スペース、2階を飲食スペースとし、屋上緑化を望むことができるテラス席も設け、活動の場にならなく、楽しく立体的でアクティブに構成。
- ◆作業室は移動間仕切りで利用目的に合わせて部屋の広さをフレキシブルに調整可能な計画。

管理ゾーン
管理事務室
入居者・施設管理
地域事務室
相談・相談・相談
文書・資料・資料
文書・資料・資料
相談・相談・相談
相談・相談・相談

- ◆支援員室以外の管理諸室は1階の北東側に集約して配置。
- ◆管理事務室はエントランスホールに面して配置し、外部からの来館者、建物内入居者、作業室やテラス越しに駐車場の様子などが把握できる位置に配置。
- ◆管理ゾーンの中でも職員以外の方も利用する各室（交流ホール・相談室・心理面接室・医務室）はひととためにし、運営管理及び利用者の利便性に配慮。
- ◆交流ホールは使い方はによって外部から直接入室することも可能。
- ◆職員の休憩室となるサロンは管理用廊下の外、厨房ゾーンに近い位置にも出入口を設け、職員食堂としての利用にも配慮。

厨房ゾーン
調理
更衣・休憩室
食品保管庫
食器洗浄庫
食器保管庫
通所食堂

- ◆1階の居住ゾーン及び2階の居住ゾーンへ配慮するためのエレベーターに近く、外部からの搬出入動線も確保できる位置に計画。
- ◆北側の林に向けて眺望がよく、また厨房に隣接して通所食堂を配置し、配置・下膳の連携に配慮。

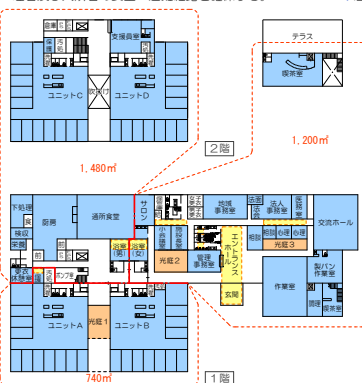
共用部
エントランスホール
ラウンジ・コワーキング
受付・受付・受付

- ◆それぞれのゾーンをつなぐ動線空間と一般利用及びみんなのトイレで構成。
- ◆エントランスホールの中に日常の作業で作成した製品・作品を展示するギャラリーコーナーを提案。
- ◆2カ所の光庭とトップライトで暗くなりしがちな廊下空間にも光が落ちる計画。

計画書の説明③ 平面計画・環境・建築設備

管理上の区分・法的な区分

- ◆建物内では適切な個所に扉を設置し、施設管理することによって管理上の区分を行う。
- ◆今回求めらる法的な区分「防火区分：1,500㎡以下での面積区分」に対しても対応可能な平面計画とし、管理者及び入居者の安全・避難経路を確保する。



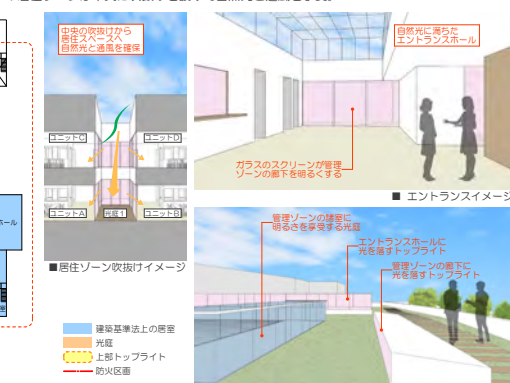
観望・入居者にやさしい仕上材

- ◆軒の出がある雨がかりのないメンテナンス性に配慮した外壁に地産産の木材を使用した温かみのある外観計画。
- ◆内外装の仕上げはメンテナンス性を意識した自然素材を使用し、温かみのある空間を演出。
- ◆転倒時の怪我防止に配慮し、耐摩耗性や防滑性に優れ、剥離にも強いクッション性のある床材を選定。



光のしかけ (天井からの採光)

- ◆光庭・トップライトを設けることで居室は全て自然採光を享受できる平面計画。
- ◆中廊下、トイレ、浴室はトップライトで採光を取り、昼間は照明を使用しなくても明るい内部空間を確保。
- ◆エントランスホールはガラスから降り注ぐ自然光で光に満ちたエントランス空間を演出。
- ◆居住ゾーンは中央に吹抜けを設けて自然光と通風を享受。



光のしかけ (天井からの採光)

- ◆光庭・トップライトを設けることで居室は全て自然採光を享受できる平面計画。
- ◆中廊下、トイレ、浴室はトップライトで採光を取り、昼間は照明を使用しなくても明るい内部空間を確保。
- ◆エントランスホールはガラスから降り注ぐ自然光で光に満ちたエントランス空間を演出。
- ◆居住ゾーンは中央に吹抜けを設けて自然光と通風を享受。

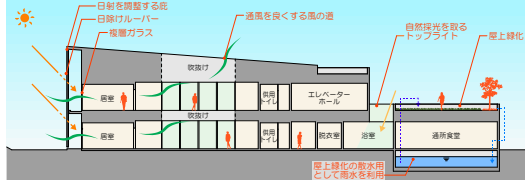


施設の維持管理経費削減に繋がるシステム ～ライフサイクルコストへの配慮～

- 建物の寿命までにかかるコストのうち約8割がランニングコスト+メンテナンスコストとされている。イニシャルコストを少ししかけることでランニングコストを抑え、結果としてライフサイクルコストを削減する事ができ、地球環境にやさしい建築になると考え、下記のような設備システムを提案する。
- ◆高効率空調機及びデマンドコントロールシステムの設置。
- ◆高効率照明を集中リモコンで制御。
- ◆照明は使用目的に合わせてセンサースイッチを採用。
- ◆屋上緑化により屋根からの熱負荷低減を図る。
- ◆雨水を利用して屋上緑化の散水用として採用。

夏涼しく、冬暖かい構造

- ◆通風を良くする風の道と、中間期や夏の夜間の空調稼働抑制に貢献。
- ◆夏の日差しを遮る日除けルーバーを計画。
- ◆応により夏冬の日照を調整。
- ◆開口部は複層ガラスを採用し、環境負荷の低減を図る。

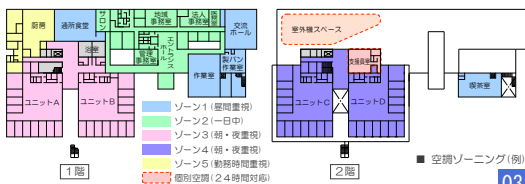


照明の有効利用

- 高効率照明 (LED) を主に、自然採光と合わせた照明コントロールにより省電力化を図る。
- ◆照明は使用目的に合わせてセンサースイッチを採用。
- ◆部屋の使用目的により調光可能な機器を選定。
- ◆集中コントロールスイッチで消忘れ防止を図る。

空調の有効な活用方法

- ◆自然換気を取り入れた空調計画を行う。
- ◆メンテナンスが容易な空冷ヒートポンプを採用。
- ◆24時間稼働など他の部屋と異なる使用時間が想定される部屋は個別空調とし、それ以外はマルチシステムを採用。
- ◆時間帯による建物内の人の動きにあわせた空調ゾーニングを計画し、負荷低減を図る。





■特に重視する設計上の配慮事項 ～地域に残る『路地』の継承～

計画地が位置する、長崎3丁目周辺は昭和40年代以降から市街化が加速し、木造2階建ての住宅を中心とした高密度な住宅地が形成され、昭和の下町の風情が色濃い路地空間が今も残されている。

計画に際し、近隣への圧迫感を軽減するため、建物壁面線から敷地境界線まで4～5m程度距離を設けることにより、外周に『路地』をめぐるし、周辺環境との連続性を図る。これにより周辺隣地への採光・通風を提供し、適度な距離間によるお互いのプライバシー確保を図る。外周敷地境界線から距離を取ることで、火災時の計画建物から隣地への延焼、隣地からの計画建物への延焼をそれぞれ防止する役目も果たす。

1階につくられる路地空間を介して地域の新しいコミュニティが生まれ、その路地のイメージは建物内部にも引き継がれる。



■ 高密度な住宅地に建つ



■ 路地とみどりと下町の風情が残る街なみ

■計画方針 ～目的と課題～

◇限られた敷地を最大限有効に活用するための計画を提案する。

◇複数の機能・部門を合理的に配置し、複合施設としての魅力を引き出す。

◇プライバシーやバリアフリーに配慮し、来庁者や子どもたちが安心して利用できる施設づくり。

◇下町の風情を生かし、周辺環境との連続性と調和に配慮した空間の提案。

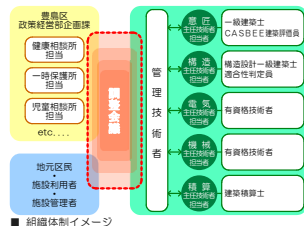
◇環境負荷の低減と、自然エネルギーの積極的な導入に取り組む。

◇地域の防災、区の不燃化推進への取り組みに寄与した計画。

◇既存樹木の保全と、屋上・壁面緑化。

■設計業務への取り組み体制

私たちは、健康相談所・一時保護所・児童相談所という、3つの用途からなる複合施設として求められる機能性、安全性、効率性並びに環境性能を考慮して、長期的視野に立った高品質で持続性の高い施設づくりを提案するため、類似施設の設計実績を有する経験豊富な各担当技術者を配置します。そして、行政・地元区民・施設利用者・施設管理者など各関係者との対話や協働作業を通じて、理解と目的意識の共有を図りながら、積極的な創意と調和をもって誠心誠意このプロジェクトに取り組む体制を整えます。



改築設計の基本的な考え方

■計画コンセプト

独立性の高い3つの機能（部門）が横並び、角の丸い正方形に近い『箱』のような建築が、木造2階建ての住宅を中心として形成される高密度な住宅地の一角に建つ。土地の持つ特徴と周辺地域の固有性を尊重した計画を目指す。

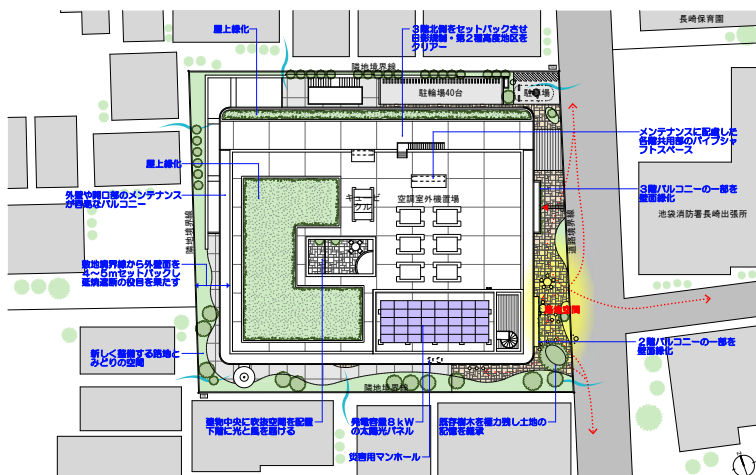
建物は敷地4周の境界線からセットバックさせ、周囲に路地空間をめぐるせ、東側前面道路とゆるやかにつなげる。1階の講堂を東側道路に面して配置、建具をオープンにすることでまちに開かれ、路地空間を介してさまざまなアクティビティが生まれる。健康や生活に関するカジュアルなレジャー、町内会や長崎保育園、消防署と連携したイベントやお祭り、地域に住むお年寄りや子どもたちのための日向ぼっこのスペース……。世代を超えた交流が生まれ、その空気が2階のテラスを介して一時保護所で生活することにもたちにも伝わることで、家庭復帰や社会とのつながりを取り戻す一助になることを期待する。



■配置計画

建物を敷地の中央に配置し、開口部が位置する外壁面を敷地境界線から4～5m程度セットバックさせる。それにより、周囲に距離を設けることで近隣への採光・通風・お互いのプライバシーを確保すると同時に、延焼遮断機能の役目を果たし、区が推進する住宅密集地域に於ける不燃化の取り組みに寄与させる。

近隣に残る昔ながらの路地とみどりを尊重し、敷地内の既存樹木は極力残し、土地の記憶を継承するとともに、新しく整備する路地空間のみどり、2階・3階バルコニーや屋上を緑化し、東側のバルコニーの一部を壁面緑化することで、区のみどりの条例に準拠した計画とする。



■主な課題とその方向性 ～計画のポイント～

【建物の長寿命化を図る】

◇高耐久性コンクリートを採用し、鉄筋のかぶり厚をJASS規定より20mm多く確保し、構造躯体の目標耐用年数100年を目指す。

◇部材選定に於いては、高耐久防水などLCCにも配慮した長寿命な工法・材料を積極的に採用する。スケルトンに高耐久かつゆとりを持たせて、将来の機能向上や計画的な改修・更新がしやすい建物構造とする。

◇構造躯体より先に耐用年数を迎える設備機器類の更新に備え、共用部分から工事が出来るゆとりを持ったシャフトスペースを確保する。

◇建物外周にバルコニーを設け、外壁や開口部のメンテナンスや日常清掃にも配慮した計画とする。

◇隣地境界線と建物外壁との間に距離を設けることで、将来的な改修作業を容易に行えるスペースを確保する。

【自然エネルギーの積極利用を図る】

◇発電容量8kWの太陽光発電設備を導入し、照明などの電源として利用する。

◇屋根に降った雨を貯留槽に蓄えて、トイレの洗浄や屋外緑地への散水に利用する。

◇外気に比べ、年間を通じて温度が安定している地下ビットに外気を通して建物内に取り入れることにより、空調エネルギーの低減を図る。

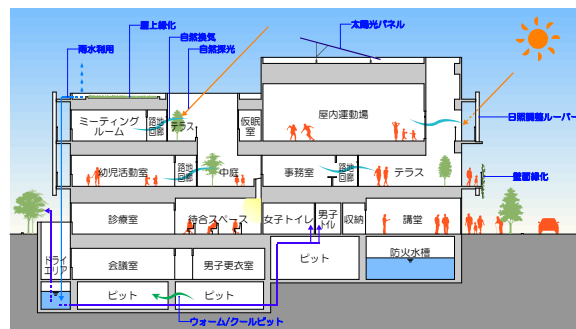
◇建物の屋上と一部壁面を緑化することで、周辺地域とみどりの連続性を図りながら、建物内部の断熱効果や日差しを調整する。

【防災機能の強化を図る】

◇診察機能を備える施設であることを最大限発揮できるように、1階講堂を災害時の一時避難所にも利用可能な位置、構造として計画する。

◇1階トイレ屋外排水系統に災害用マンホールを組み込み、災害時の一時避難所としても利用可能な計画とする。

◇外壁面を敷地境界線からセットバックさせ、周囲に距離を設けることで、延焼遮断機能の役目を果たす。

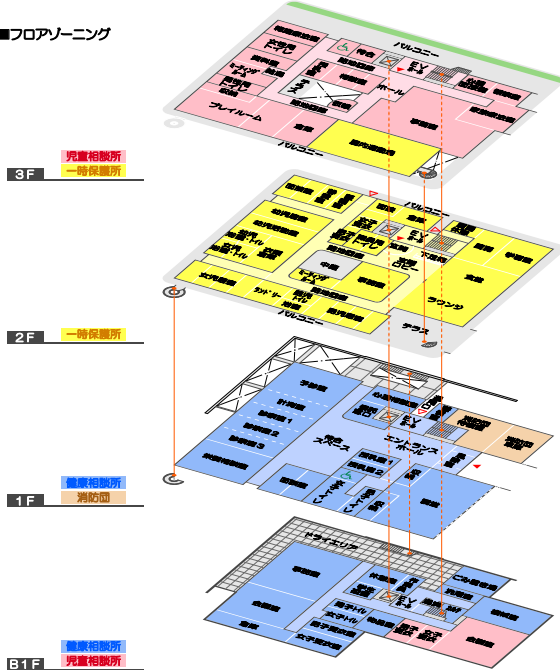


設計案の概要

■計画概要 ～建物規模～

◇構造規模	RC造
◇階数	地上3階・地下1階
◇最高高さ	14.80m
◇敷地面積	1499.63㎡
◇建築面積	898.33㎡
◇床面積	3階 689.38㎡
	2階 803.23㎡
	1階 830.81㎡
	地下1階 620.33㎡
◇延べ面積	2943.75㎡ (容積率算定用: 2921.19㎡)
◇建ぺい率	59.90% < 60%
◇容積率	194.79% < 200%

■フロアニング



■平面計画

【地下1階・1階：長崎健康相談所】

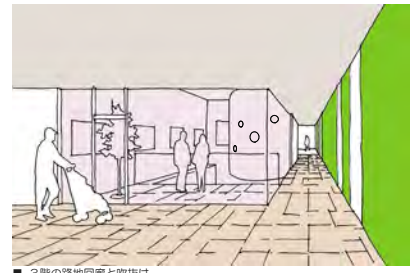
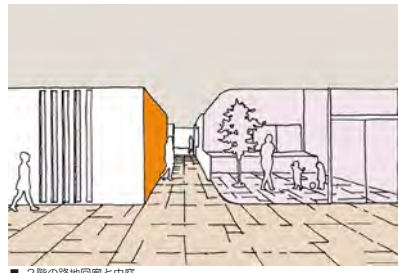
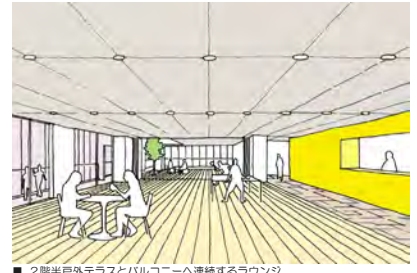
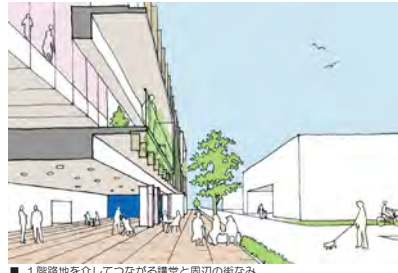
施設全体のエントランスホールを中央に配置し、西側に待合スペースを中心に囲むかたちで委託窓口、診療諸室、相談・面談室、授乳室を配置した。土日、夜間の地域開放を踏まえ、講堂は東側前面道路に面した位置とし、スライド式の建具を開放すれば、路地空間と連続した多目的な利用が可能となる。EVホールと階段は、北側関係者用通用口からもアクセスが可能であり、階ごとに異なる開所時間帯への対応も想定し、防犯セキュリティにも配慮した計画としている。

【2階：一時保護所】

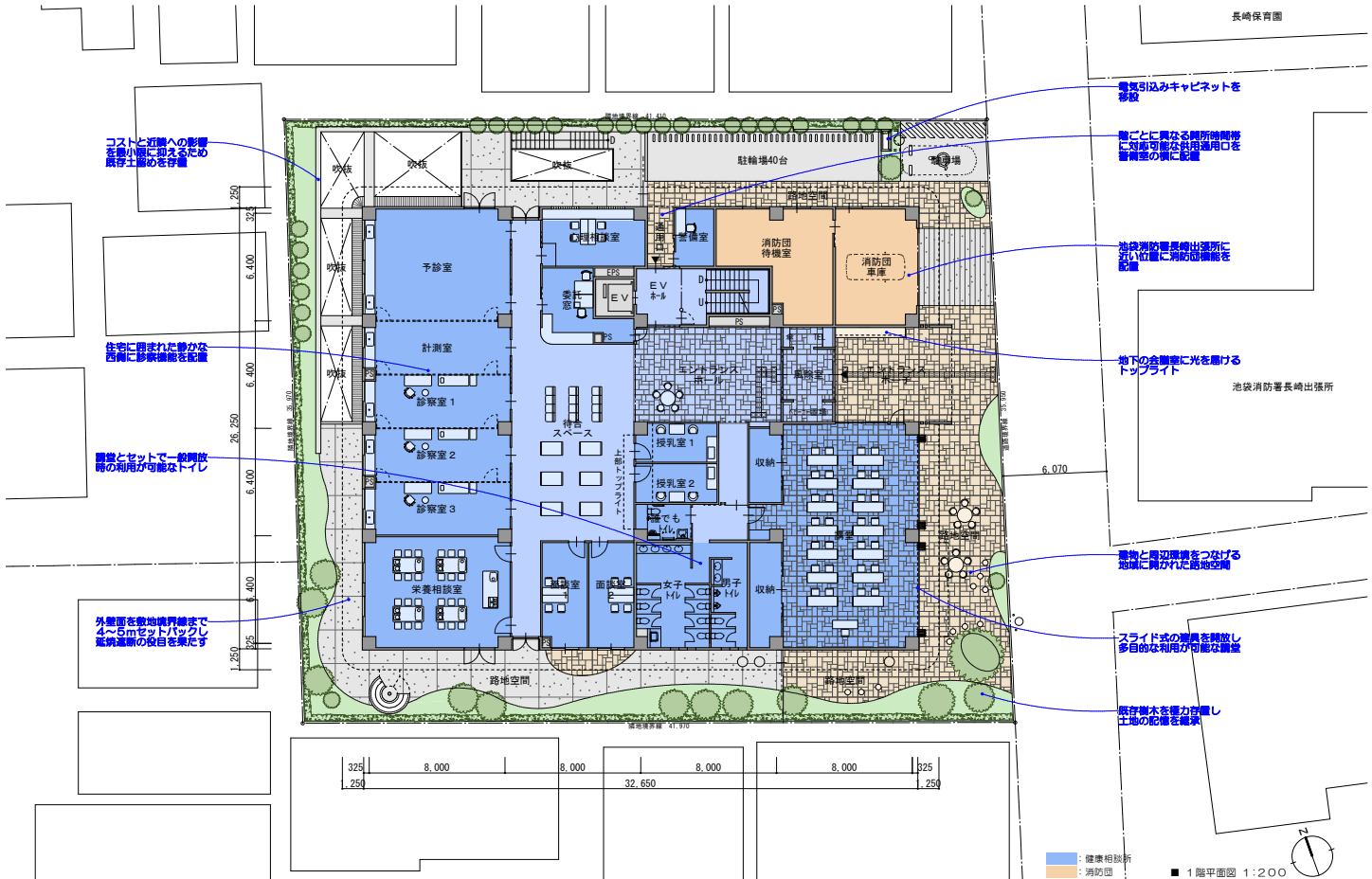
EVホールと階段に面して入所者のための玄関ロビーを配置し、東側バルコニーに面してラウンジ、食堂、学習室などの共用居室を並べ、これらを見渡せる中央に事務室を配置した。中庭に面した事務室の周囲には『路地回廊』をめぐらせ、1階の外部空間のイメージを踏襲している。路地回廊に面して男児・女児・乳児の居室群、面接、医務、静養室を配置。明るく見通しの良い路地回廊の延長には半戸外のテラスを設け、内部の生活と外部のまちなぎの気配がゆるやかにつながるよう意図している。

【3階：児童相談所】

中央の吹抜と中庭に面して相談室等の個室群を並べ、このブロックを2階と同様に『路地回廊』で囲んでいる。路地回廊に面して、事務室、プレイルーム、ミーティングルーム、水廻りを配置した。特にデリケートな箱庭療法室、心理面接室、家族療法室はそれぞれ東西端部の静的な場所とした。屋内運動場は2階の一時保護所部門に位置づけられるため、3階の開所時間帯や休日にも2階に入所する子どもたちが利用できるように、2階テラスに専用の階段を用意した。



各階平面図





【技術提案資料：①敷地利用の工夫や考え方】

【時間と空間が積層された広場】

北側JR横須賀線と南側東逗子駅前商店街に挟まれたリニアな敷地は、改札口周辺の駅前広場、駅のホーム、南面に隣接する商店の長屋に囲まれたポケットパークのような趣の空地である。そこには桜の大きな木の下で佇む人の姿や、風情のあるイロハモミジ、ムクノキ、ビワなどの本立とともに、駅前とは思えない野性味のある路地空間が残されており、システムティックな交通インフラとは対比的な、ゆったりとした時間が流れている。この時間の流れ、土地の記憶を引継ぎながら、市民が行き交い、滞留し、憩い、時に活発なイベントが行われるための【時間と空間が積層された広場】をつくる。

【さくらテラス～ふれあいプラザ～こかげの路地】

わたしたちは、この地域のシンボルと言えるような西側の桜の大きな木をそのまま残す前提で計画をはじめた。【さくらテラス】と名付け、駅前広場から市民や駅利用者へこのテラスに導くように、西側に開かれた【ふれあいプラザ】を設けた。南側は既存の本立をなるべくそのまま生かし、【こかげの路地】として整備する。東側の地区の市民が生活動線として使っていた「けものみち」を尊重し、土地の記憶を継承する。敷地の東西を繋ぐ屋外動線の間地点に新しい建物のエントランスを設けることで、都市と環境と建築がゆるやかに連続する奥行きのあるアプローチ空間を提供する。

このような日常の空間とは対比的な、この地域に於けるもう一つの役割とも言える「ふれあい広場」としての機能もアップデートさせる。さまざまなイベント、お祭り、マルシェや音楽ライブも継続して開催できるように、さくらテラスを中心に駅側にステージを用意。新しい建物の用途のひとつであるオープンスペースをステージに対面する1階部分に配置した。オープンスペースはテラスに面したサッシを開放して、ふれあいプラザやこかげの路地と一体の空間となり、非日常的なにぎわいの場を演出する。

日常と非日常の時間を許容し、さまざまな立場・世代のひと、目的を持ったひと・持たないひとを許容し、いろいろな交流やアクティビティを誘発する新しい【広場】が生まれる。



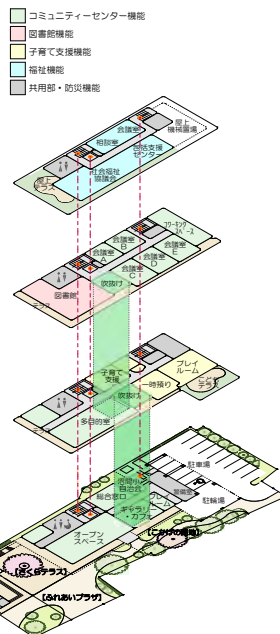
敷地西側の桜の大きな木



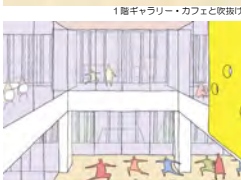
敷地南側の木立と「けものみち」



イメージパース



機能	機能名	必要面積 (㎡)	計画面積 (㎡)
コミュニティセンター機能	トコ・ノ・ミ (交流・活動1)	1300	1512
	多目的室 (集客エリア)	1950	1848
	多目的室 (集客エリア)	1950	2208
	集会室 (コミュニティホール)	500	504
	図書・学習・地域活動室	200	216
	子供・青年・高齢者交流室	150	345
	オープンスペース (グランド)	200	196
	多目的室 (カフェ)	200	226
	オープンスペース	700	720
	共用部	200	222
図書機能	小計	7350	7997
	図書スペース	900	808
	閲覧スペース	500	554
	分室受付カウンター	120	180
	小計	1520	1542
子育て支援機能	プレイヤーム	800	834
	図書室 (図書室)	80	161
	子どもトイレ	80	79
	子育て支援センター事務局	250	252
	プレイ・実・イ・サ・サ・サ	200	210
	子どものためのスペース	800	574
	小計	2010	2110
福祉機能	社会福祉協議会事務局・会室	1400	1395
	福祉相談・福祉支援センター	500	536
	相談室	300	324
	会議室	300	340
	小計	2500	2595
共用部・防災機能	利用者の共用部		
	トイレ・給湯室	1800	1767
	待合室	80	50
	その他共用部	8490	6951
	小計	10370	8468
	職員共用部		
	職員更衣室	300	196
	職員休憩室	300	177
	倉庫	150	120
	小計	750	493
防災機能	防災機能	340	316
	小計	24840	23921
その他	駐車場	128	150
	駐輪場・バイク置き場	248	280
	駐歩場	4500	5430
	小計		5860



■コミュニティセンター機能

屋外のさくらテラスと一体的な利用ができるよう、オープンスペース、ギャラリー、飲食提供（カフェ）、プレイルーム、事務機能を1階に配置した。多目的室を2階の西側に配置し、1階のオープンスペースとの拡張的・横断的な使い方ができるように、専用の外階段や吹抜けを用意し、立体的な交流・活動スペースとして位置づけた。この施設の核となるような場所をイメージした。

■図書機能

3階に配置。コミュニティセンター機能のなかでも比較的「静的」な性格の会議室A～E、ワーキングスペースと同じフロアに同居させ、図書閲覧～検索～研究～会議～リモートワークがスムーズに連携、機能することを優先して配置した。

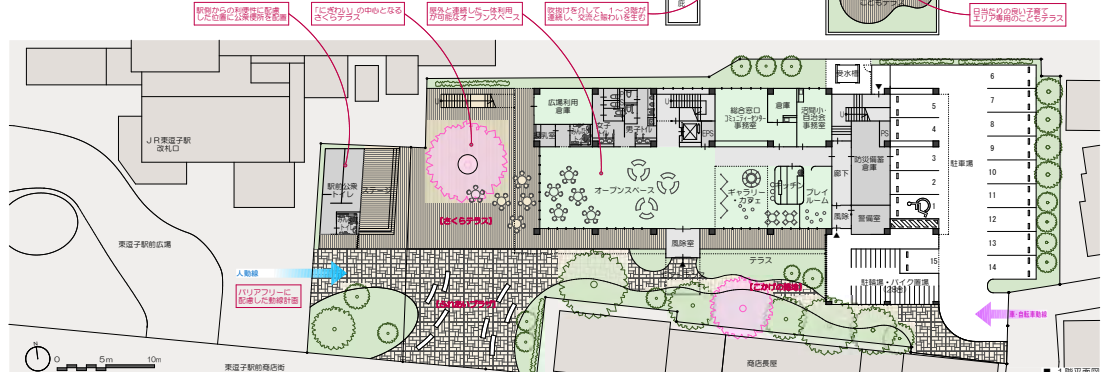
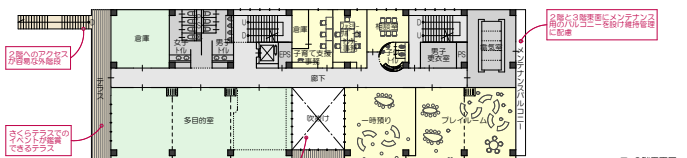
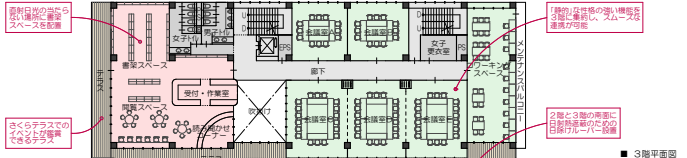
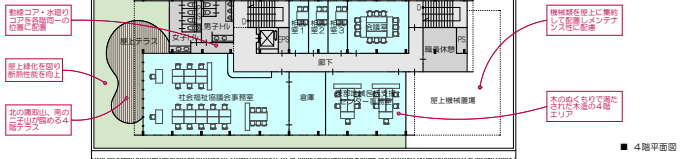
■子育て機能

できるだけ地上階に近いフロアに配置するべきと考え、2階に配置した。1階駐輪場の上に屋根を載せ、プレイルーム・一時預かりスペースと一体の日常たり良好な【こどもテラス】を設けた。

■福祉機能

特定の利用者のための部門である福祉機能は、最上階に配置した。木造でつくられた4階は、木のぬくもりで満たされ、施設を利用する市民に安らぎを提供する。

各階毎に4つの機能が独立しているのではなく、階を横断して同居するようなフロア構成とした。各階に吹抜け空間や屋外テラスを用意し、4つの機能・部門が水平方向、上下方向でゆるやかにつながり、ひとの視線や活動が交わり伝わりあうことで、新しい交流やふれあい、にぎわいが生まれる。



【建物の長寿命とライフサイクルコスト】

建物の寿命までにかかるトータルコストのうち約8割がランニングコストとされているが、イニシャルコストを少し抑えて高耐久性・高耐震性・フレキシビリティ・メンテナンスビリティに配慮した建築計画を行うことによって、建物の長寿命を図り、また、木材の積極活用を行うことにより、建設に伴うLCCの削減も目指すものとする。

【建築長寿命化対策】

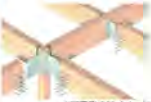
市の基本計画に於いて、RC造・S造・木造の3形式を比較検討されていますが、建設費全体の約4割を躯体工事が占めることを踏みて、イニシャルコストで最も有利であるRC造を基本構造に採用します。

1～3階を6×8m/6×6mスパンのRCラーメン構造とし、壁面平面計画の採用と合わせ、経済的な構造計画とします。

最上階の4階を木造（大断面集成材）を採用し、全体の躯体重量低減を図ります。また、二重工に於いて、下階の躯体工事を進めながら、木造部材を工場で行って製作することにより、4階立上りの工期を約3週間程度短縮することができ、全体工期の圧縮・環境経費の削減につながります。木造大断面集成材の採用理由としては、同じ木造CLTと比較し採用実績が多く、流通も安定しているため、コストに於いても有利であると考えます。

【木造の採用】

計画地のある沼間地区は、北の龜取山、南の二子山に囲まれています。一般の構造に木造を採用して、緑豊かな地域性を表現します。



【建物の長寿命化対策】

■高耐久性・高耐震性の確保

①高強度コンクリートの採用と鉄筋のかぶり厚をJASS規定より20mm多く確保し、構造躯体の目標耐用年数100年を目指します。
②部材選定においては、高耐久防水の採用等LCCにも考慮して長寿命な工法・材料の選定をします。

■フレキシビリティへの対応

①スケルトンに高耐久かつゆとりを持たせて将来の機能向上や計画的な改修が実施しやすい建物構造とします。
②動線コア、トイレ水回りコアを各階同一の位置に揃え、北側に配置することで、主要室の模様替えや更新改修のしやすい平面計画とします。

■メンテナンスビリティへの対応

①構造躯体より先に耐用年数を迎える設備機器の更新に備え、共用部から工事が出来るゆとりを持ったシャフトスペースを確保します。
②然自前の大さき建物外周3辺にはバルコニーを設け、日常点検や定期清掃に配慮した計画とします。
③機械室は屋上に集約して設置し、駐車場を利用した日常点検並びに更新の容易性に配慮します。

【地球環境にやさしい建物】

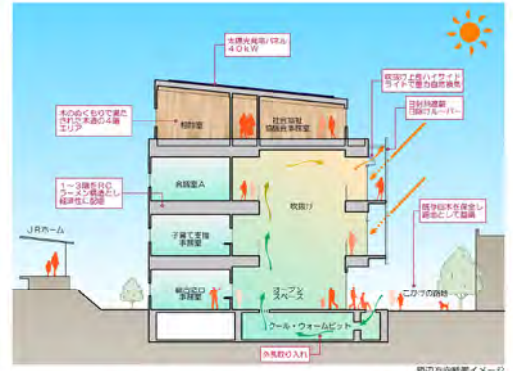
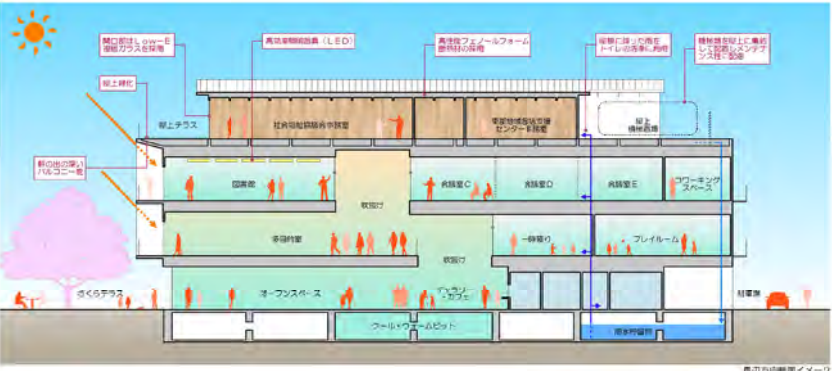
エネルギー負荷抑制の建築的工夫（省エネ）＋自然エネルギーの積極活用（創エネ）により、ひとと地球にやさしい施設づくりを目指します。「Near y-Z E B」にてできるだけ近づけるよう、以下の項目について取り組んでいきます。

■エネルギー負荷の抑制

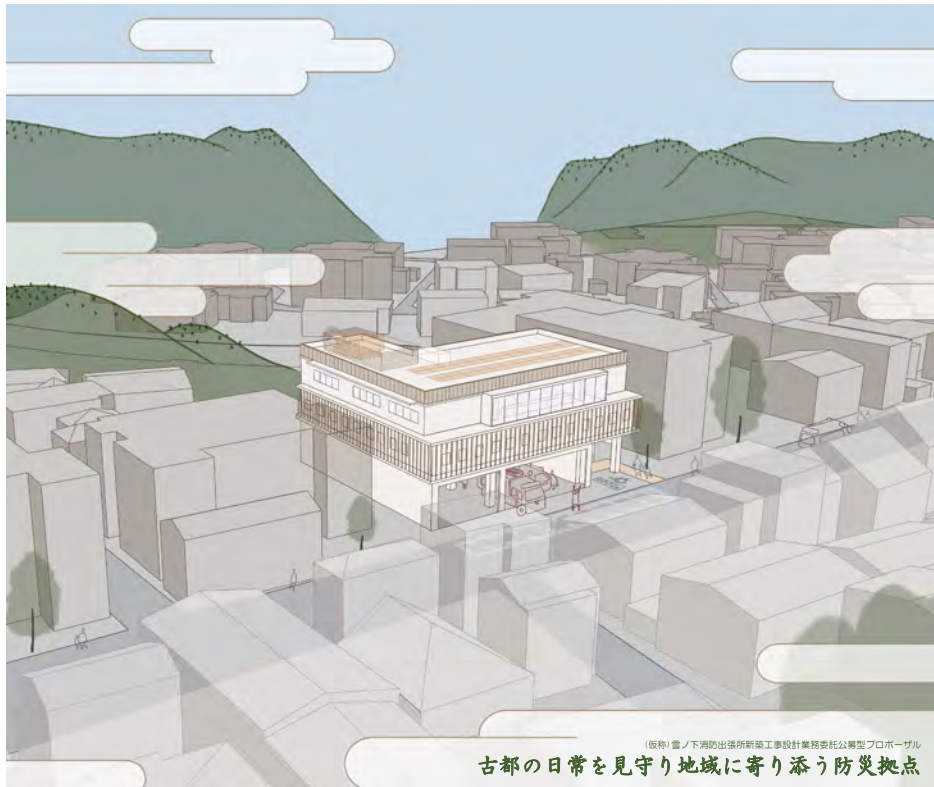
- 開口部はLow-E複層ガラスを採用。
- 外壁（躯体面）に高性能F747断熱材を採用し断熱性能を強化。
- 南面、西面にバルコニーを設置。日除けルーバーと合わせ、夏期の日射熱を遮断。
- 1～3階に吹抜けを設け、重力自然換気を図り、内部の熱排気を行う。
- 高効率パッケージ空気調和機の採用。
- 個別空調（空冷ヒートポンプビルマルチ）システムを採用し、部門毎に空調稼働エリアをゾーン分けし、エネルギー効率を高める。
- 全熱交換排気機を採用し、換気による外気負荷を低減する。
- 高効率照明器具（LED）及び、人感センサーによる自動点滅制御を採用する。

■自然エネルギーの活用

- 屋根に太陽光発電パネルシステム（約40kW）を採用。
- 屋根に降った雨を貯留槽に蓄えてトイレの洗浄や屋外の散水に利用。
- 外気に比べ年間を通じて温度が安定している地下ビットに外気を通して建物内に取り入れることにより空調エネルギーの低減を図る。
※建物の各所に壁面緑化を図り、断熱効果の向上に努める。
- 自然の力で快適さを維持できる敷地面緑化に努める。



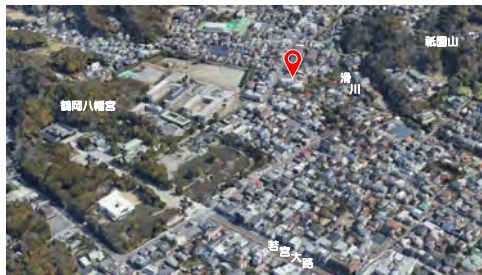
(ア) 業務実施方針

(仮称)雪ノ下消防出張所新築工事設計業務委託公募型プロポーザル
古都の日常を見守り地域に寄り添う防災拠点

■コンセプト

計画地は雪ノ下の北西側に広がる鶴岡八幡宮の境内と、名跡の「やぐら」がいくつも残る祇園山を南側に背負った場所に位置している。住宅や商店で構成された交通量の多い金沢街道から裏道に入ると、古式ゆかしい寺社や稲荷のほか、明治期以降に建てられた満洲な別荘と園庭の縁が、穏やかな路地空間をつくり出しており、祇園山の足元には滑川が蛇行しながらゆっくりとした時間とともに流れている。古都鎌倉の日常性と非日常性が交差したような場所である。

- 「(仮称)雪ノ下消防出張所整備基本計画」で示された以下の基本方針をもとに、計画地の周辺が持っている歴史的な背景、蓄積してきた時間、人土のつながり、自然環境など、この土地の固有性を尊重しながら、高度な消防力を発揮する『古都の日常を見守り地域に寄り添う防災拠点』としての新しい消防出張所をつくり出す。
- × 機能的で快適な労働環境の整備
 - × 効率性を備えた災害対応力の強化
 - × 近隣住環境への影響を抑えた庁舎
 - × 雪ノ下の街並みと調和したデザイン
 - × 将来の組織改編にも対応できる柔軟性
 - × 環境負荷低減に配慮した庁舎



(イ) 業務実施体制 (業務体制、協力体制、本市との連絡体制等) (ウ) 実施計画 (作業工程、スケジュール)

■業務へ取り組む姿勢

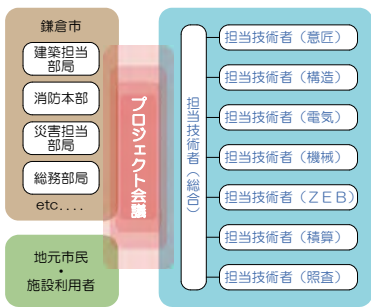
● 経験豊富なメンバーによるチーム
対話に起点を置く姿勢を重視した業務プロセスにより、雪ノ下消防出張所の理念・基本方針の具現化に努めます。

私たちは、求められる機能性、安全性、効率性などさまざまな条件を考慮し、長期的視野に立った高品質で持続性の高い建築を実現するため、**消防施設や訓練施設、地方行政の庁舎などの設計実績を有する経験豊富なメンバーでチームを構成し**、的確なヒアリング、わかりやすい資料づくりや丁寧な説明をこころがけ、行政・市民・施設利用者など各関係者との対話や協働作業を通じて、**理解と目的意識の共有を図りながら、積極的な創意と調和をもって**取り組みます。

● 市民を守る構造・設備エンジニア
実績豊富な構造、設備設計者と協力し安全かつ安心な施設を第一に業務に取組みます。設備面では**災害に強い建物を計画することはもちろんのこと、自然エネルギーを活用したサステナブルでエコロジカルな施設**とします。また、ZEBやCASBEEなどの環境設計に特化した担当技術者による検証も平行して進めることで、詳細設計への確実なフィードバックを可能とします。

構造設計に於いては、構造設計一級建築士を配置します。安全性、合理性に対する深い理解をもちながら、**消防施設特有の大スパン空間、変則的な階高などの技術的要求に真摯に向き合います。**

■取組体制表



■消防施設設計実績



■ZEB認証取得実績



■特に重視する設計上の配慮事項

● 景観への配慮～リサーチと探求
私たちは、**近隣市での類似施設に於いて、景観法に基づく景観審議会や景観アドバイザー会議での説明、意見交換、そこで示された意見を受けての検討などの手順を踏み、その土地の文脈や歴史、環境を尊重した計画案を導き出して**きました。会議では、広域まで表現した模型、完成予想パース、各種外装材サンプルなどを会場に持込み、有識者や市民への丁寧な説明に尽力しました。

これらの経験を生かし、現地や周辺地域でのリサーチを重ねた上で、**古都鎌倉雪ノ下地区に最もふさわしいかたちの探求と、専門的で高度な消防機能との両立に向けて最善を尽くします。**

● 建設コスト管理
工事費の抑制のために、デザインの特徴となるポイントを絞り、空間の質とコストのバランスを意識した設計をこころがけます。また、**建物の特徴に応じた最適な構造システムを採用することで合理的かつ経済的な設計**を目指します。

基本設計、実施設計の各段階でチェック期間を設け、**段階的なコスト管理**を行います。これにより各段階での手戻りがなくスムーズな工事入札へ善いへとつなげます。

また、メーカーを限定する特殊な材料、工法や特注仕様を採用を避けることで、**価格の適正化を実現するとともに、将来の維持管理費の削減にもつなげます。**

● LCCへの配慮
建物の寿命までにかかるトータルコストの約8割がランニングコストとされていますが、フレキシブル性・メンテナンス性に配慮した設計を行う事で、建物の長寿命化を図り、また、木材の積極活用を行うことにより、建設に伴うLCCO2の削減も目指します。

◆ フレキシブル性への対応

- ① **スケルトンに余裕を持たせて将来の機能向上や計画的な改修が実施しやすい建物構造**とします。
- ② 縦動線、水廻りコアのエリアを各階で極力揃え、**主要室の模様替えや更新改修のしやすい平面計画**とします。

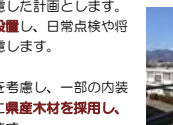
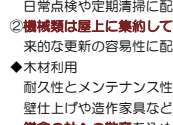
◆ メンテナンス性への対応

- ① **負荷荷の大きい建物外周にはバルコニーを設け**、日常点検や定期清掃に配慮した計画とします。
- ② **機械類は屋上に集約して設置し**、日常点検や将来的な更新の容易性に配慮します。

◆ 木材利用
耐久性とメンテナンス性を考慮し、一部の内装壁仕上げや造作家具などに**県産木材を採用し、鎌倉の杜への敬意を込めます。**

■作業工程表

年度	令和7年度												令和8年度												令和9年度											
	西暦	2025	2026											2027																						
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8																
設計プロセス				案件整理・リサーチ																																
				概算				概算												概算																
													開発時係事前協議				開発時係事前協議			計画通知書送付完成																
				基本設計										実施設計																						
		P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P				P		P																	



(ア) 建物計画に関して、緊急出動を円滑に行うための動線計画、24時間勤務体制を踏まえた執務環境整備及び限られたスペースでの訓練機能の整備

■緊急出動を円滑に行うための動線計画

消防機能を1階、生活機能を2階、事務機能を3階に配置し、建物内の機能分類を明確にフロア毎に分ける建物構成とします。イレギュラーな諸室配置として、消防機能のトレーニング室と生活機能の休憩室・厨房を3階に配置していますが、一般来庁者が利用可能なエリアと職員専用のエリアを明確に区画することで、施設全体として機能性と利便性に配慮し、また緊急時の明快な出動動線を確保したゾーニングの計画とします。

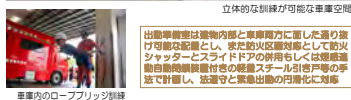
■24時間勤務体制を踏まえた執務環境整備

通りや町の様子を見渡せ、また出動・帰署の状態が確認できる大きな開口を設けた明るい執務室を3階の北側に配置します。

プライバシー性の高い男・女の仮眠室と水回りを消防機能、事務機能と明確に分離した2階に配置し、快適な生活・執務環境の確保に配慮した計画とします。

■限られたスペースでの訓練機能の整備

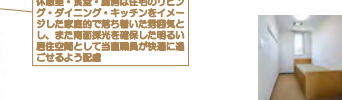
車庫は敷地南側へ車両通り抜け可能とし、敷地の南側及び車庫内の東側に車両を移動し、車庫内に訓練スペースを確保する計画とします。また屋外階段の壁面を利用して放水壁、訓練用梯子を整備し、車庫内の訓練スペースとあわせて狭い計画地において限られたスペースで可能な限りの訓練機能を提案します。



屋内訓練として、トレーニングルームに配水やういてい設備



明るい休憩室・食堂・厨房



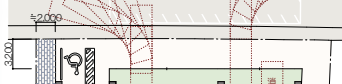
個室の仮眠室



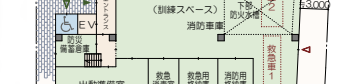
女性専用のエリアを明確に区画して配置し、男性エリアと区画して配置することで、緊急出動や休養室への動線とともに女性職員の快適な生活・執務環境の確保に配慮



すべての取組を建物と車庫の間に設置し、プライバシーの確保と出動動線の確保に配慮



放水壁は水の電線設備と一体的として色の異なるFRPグレーティングの張り付けで整備



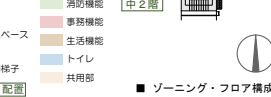
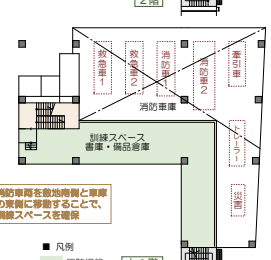
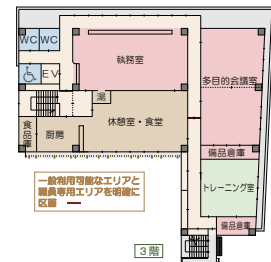
FRPグレーティングによる放水壁



放水訓練壁



訓練用梯子



ゾーニング・フロア構成

(イ) 鎌倉景観地区における公共施設であることを踏まえ、地域の街並みに調和する景観への配慮

■地域の街並みに調和する景観への配慮

計画地は鎌倉市の景観地区区分における『住商複合地』に含まれ、『低中層を基調としたヒューマンスケールなまち並みと調和』が当該地域の景観形成の規程となっています。

2階建てから4階建て、また用途も様々な建物が立ち並び現状の町並みのスケール感との調和を図りつつ、鎌倉景観地区内に建つ公共施設として以降の建築の手本となり、魅力的な沿道景観の形成を先導する外観の計画を目指します。

鎌倉の街並みのアイデンティティとして、通りから眺め魅力的な路地景観の存在が考えられます。設計条件として提示されている西側2mの通路と東側3mの車両通行可能な通路を路地的な見え方のする空間として演出します。

古都の伝統的な街並みや路地に見られる木格子、板塼といった趣のある建築的要素をモチーフとした外観デザインを提案します。

また日影規制を遵守するための凹凸のある建物形状を建物の外観デザインに転換し、単調にならない陰影のある外観表情を計画します。

木質系素材による建物表情と路地の隙間から敷地向こうの緑を望む鎌倉らしさのある景色が通りの景観形成の一翼を担う計画とします。

複数の行政との景観協議の経験が本業務における、基準に適合した形態意匠の提案と必要な諸手続きのスムーズな進捗に活かされると考えます。



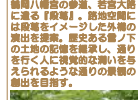
路地の奥に建物の緑が見える景観



路地の奥に建物の緑が見える景観



遠景の緑が見える計画地



路地の奥に建物の緑が見える景観



路地の奥に建物の緑が見える景観



路地の奥に建物の緑が見える景観



路地の奥に建物の緑が見える景観



路地の奥に建物の緑が見える景観



路地の奥に建物の緑が見える景観



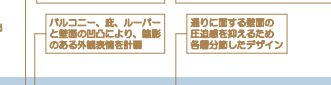
路地の奥に建物の緑が見える景観



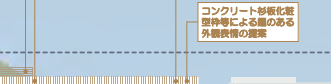
通りの景観イメージ



木質系ルーバーのイメージ



計画地周辺の街並み



至外機自給し事例



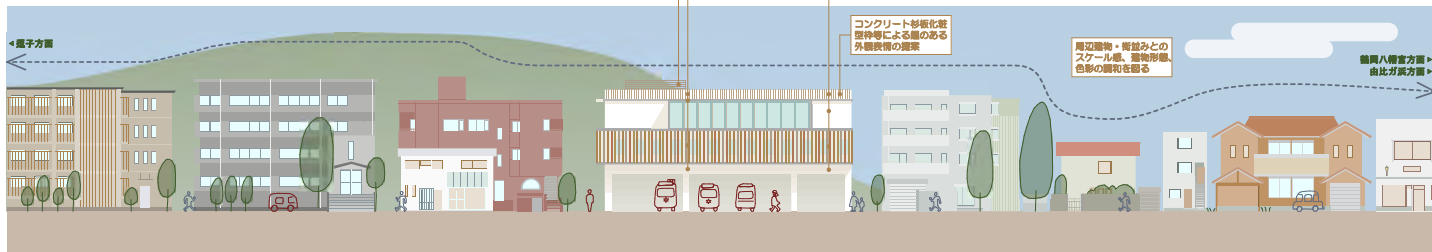
木質系ルーバーのイメージ



計画地周辺の街並み



至外機自給し事例



周辺建物・街並みとのスケール感、建物形態、色調の調和を図る



鎌倉八幡宮方面へ由比が浜方面へ

COMPANY

会 社 名 株式会社小林建築事務所

所 在 地 〒 243-0018 神奈川県厚木市中町 3丁目 18番 8号

E-mail kobaken@atsumegi.com

TEL 046-221-3370

FAX 046-221-3323

URL <https://atsumegi.com>

登 録 免 許 一級建築士事務所 神奈川県知事登録 第 1194号

ZEHプランナー

ZEBプランナー

設立年月日 1959年 4月 1日(個人開業)

1965年 2月 1日(法人設立)

資 本 金 額 21,000,000円

開 設 者 代表取締役 山宮 康延

管理建築士 一級建築士 金井 良夫

事 業 内 容 建築企画・基本設計・実施設計・積算・監理・耐震診断・インテリア
設計造園設計・不動産関連のコンサルティング
社会福祉法人設立手続き



株式会社小林建築事務所
60周年記念誌 彩【いろどり】

発行者 株式会社小林建築事務所
編集 60周年記念事業実行委員会 記念誌班
発行 2026/07/17

